NTT

SL-6号電話機

取扱説明書





技術基準適合認定品
SL6-デンワキ

このたびは、SL-6号電話機をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

お使いになる前に
基本的な機能
便利な機能あれこれ
電話機の設定と接続方法
付録

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

●この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
●本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
●本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
●本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
●本商品を分解したり改造したりすることは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
●不要となった蓄電池は、当社のサービス取扱所にお持ちいただくか、または、当社の販売担当者にお渡しいただければ廃棄します。（蓄電池を分別廃棄している市町村がありますので、その場合は市町村の条例に基づいて廃棄してください。）
●操作早見表をご使用の際は、必ず取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。
●本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら当社のサービス取扱所へお申しつけください。

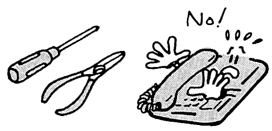
⚠ 警告

●万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源コードと電話機コードをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認して当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

●万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、または内部に異物や水などが入った場合は、電源コードと電話機コードをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

●本商品のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、電源コードと電話機コードをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●本商品を分解・改造したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検・調整・清掃・修理は当社のサービス取扱所に依頼してください。



●この蓄電池は、SL-6号主装置専用（別売）です。それ以外の機器には使用しないでください。電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。

●蓄電池を使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。蓄電池を漏液、発熱、破裂させる原因となることがあります。
・火の中に投入したり、加熱しない。
・直接はんだ付けしない。

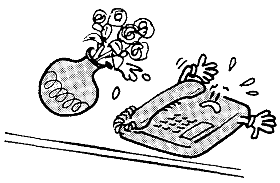
●蓄電池を分解、改造しないでください。蓄電池の発熱、破裂の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠ 警告

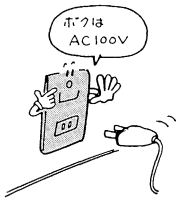
●蓄電池内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

●本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。

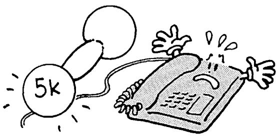


●ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

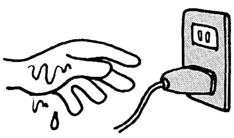


●電源コードおよび電話機コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コード等が破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源コードや電話機コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。



●電源コードが傷んだ（芯線の露出、断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源をコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理を依頼してください。

●ぬれた手で電源コードと電話機コードを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



●ぬれた手で本商品を操作しないでください。感電の原因となることがあります。



⚠ 警告

●ぬれた手で電話機を操作したり、ぬれた手で蓄電池を交換しないでください。感電の原因となることがあります。

●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグを点検してください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

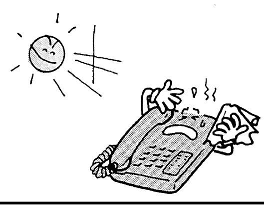
●蓄電池内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。

●蓄電池を水や海水につけたりぬらさないでください。蓄電池を発熱させたり、さびの原因となることがあります。

お使いになる前に（設置環境）

⚠ 注意

●直射日光の当たるところや暖房設備、ボイラーなどのため著しく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。



●調理台のそばなど油飛びや湯気の当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠ 注意

●本商品底面にはゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

お使いのとき

⚠ 注意

●本商品を壁に取り付けるときは、本商品の重みにより落下しないようしっかりと取り付け、設置してください。重みでネジが抜けて、けが、破損の原因となることがあります。

●電源コードと電話機コードを抜くときは、必ず電源コードを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。

●本商品と電源コードを熱器具に近づけないでください。キャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●本商品に乗らないでください。〈特に、小さなお子様のいるご家庭では、ご注意ください〉倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

●蓄電池を主装置に取り付ける場合は、機器の表示通り正しく入れてください。間違えると蓄電池の破裂・漏液により、けがをしたり周囲を汚損する原因となることがあります。

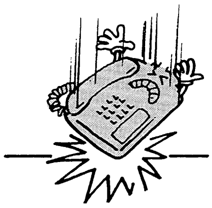
取り扱いについて

STOP お願い

●ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください（変色や変形の原因となることがあります）。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。



●落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

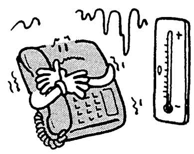


置き場所について

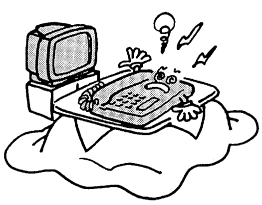
こんな場合は、電話がつながらなかったり、雑音が入ることがあります。

STOP お願い

●製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。



●電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、ファクシミリ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。



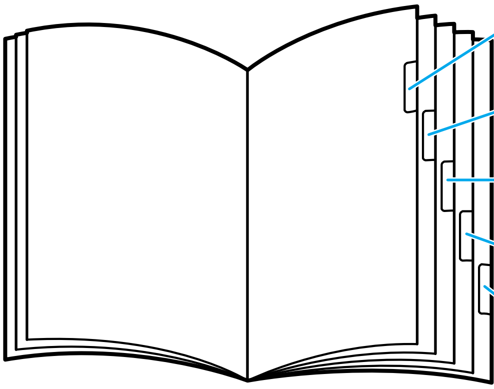
●硫化水素が発生する場所（温泉地など）では、本商品の寿命が短くなることがあります。

目次

つづく

この取扱説明書の見方

この取扱説明書の構成



お使いになる前に
お使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。

基本的な機能
日常、よくご利用になる機能を説明しています。

便利な機能あれこれ
より便利にお使いいただくための機能を説明しています。

電話機の設定と接続方法
電話機の設定と接続方法をまとめて説明しています。

付録
故障かな？と思ったときの確認方法や、索引などをまとめています。

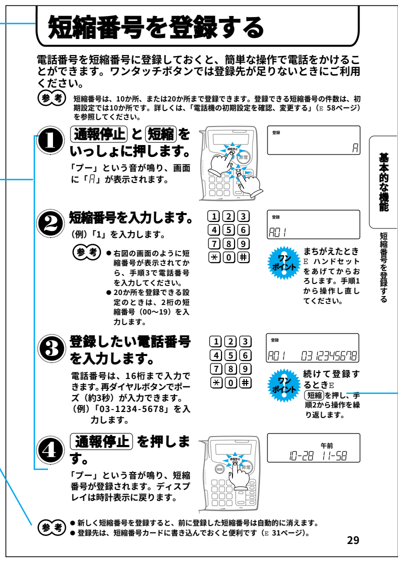
操作ページの構成

タイトル
操作目的ごとに、タイトルが付けられています。

操作手順説明
操作内容を示すイラストや、操作で使う電話機のボタンの位置などと、ディスプレイに表示される内容を示しています。

参考
本商品をご利用いただく上で、知っておくとためになることを説明しています。

参照
参照項目やページを記述しています。



短縮番号を登録する

電話番号を短縮番号に登録しておくと、簡単な操作で電話をかけることができます。ワンタッチボタンでは登録先が足りないときにご利用ください。

参考 短縮番号は、10か所、または20か所まで登録できます。登録できる短縮番号の件数は、初期設定では10か所です。詳しくは、「電話機の初期設定を確認、変更する」（☞ 58ページ）を参照してください。

❶ **通報停止 と 短縮 をいっしょに押します。**
「プー」という音が鳴り、画面に「A」が表示されます。

❷ **短縮番号を入力します。**
（例）「1」を入力します。
参考
- 右図の画面のように短縮番号が表示されてから、手順3で電話番号を入力してください。
- 20か所を登録できる設定のときは、2桁の短縮番号（00～19）を入力します。

ワンポイント まちがえたとき☞ ハンドセットをあげてからおろします。手順1から操作し直してください。

❸ **登録したい電話番号を入力します。**
電話番号は、16桁まで入力できます。再ダイヤルボタンでポーズ（約3秒）が入力できます。
（例）「03-1234-5678」を入力します。

ワンポイント 続けて登録するとき☞ 短縮を押し、手順2から操作を繰り返します。

❹ **通報停止 を押します。**
「プー」という音が鳴り、短縮番号が登録されます。ディスプレイは時計表示に戻ります。

参考
- 新しく短縮番号を登録すると、前に登録した短縮番号は自動的に消えます。
- 登録先は、短縮番号カードに書き込んでおくと便利です（☞ 31ページ）。

基本的な機能
短縮番号を登録する
29

ワンポイント
本商品を操作する上で、知っておくと便利なことを示しています。

お使いになる前に

ここでは、SL-6号電話機をお使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。



この電話機の特長

SL-6号電話機は、一人暮らしの方、お体の不自由な方に、いざというときの安心をお届けします。緊急通報や相談電話機能など、さまざまな安心機能を備えています。

参考 SL-6号電話機は110番、119番などに通報を行う装置ではありません。

ボタン一つで緊急通報

からだの調子が悪いときは、 非常 を押します。登録してある通報先に、自動的に電話がつながります。



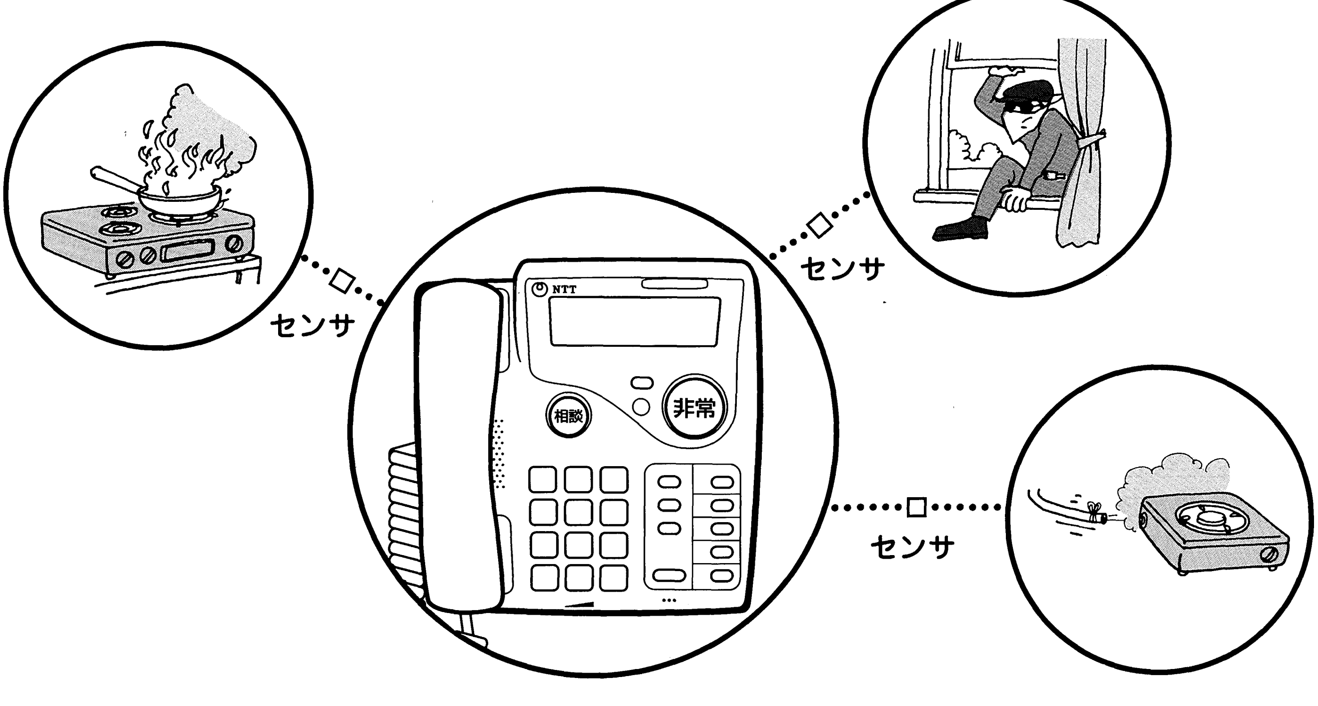
ちょっと困ったときや、相談したいときの相談電話

ちょっと困ったときや、相談したいことがあるときは、相談を押します。登録してある連絡先に、自動的に電話がつながります。



みなさまの健康と安全をお守りする安心機能

SL-6号電話機に、市販の防犯、防災センサが接続されているときは、火事やガス漏れ、空き巣など、万が一のときに、登録してある連絡先に通報します。
また、みなさまのトイレの使用の有無から、連絡先に通報する機能もご利用いただけます。



- **SL-6号電話機で使用できるセンサの詳細は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。**

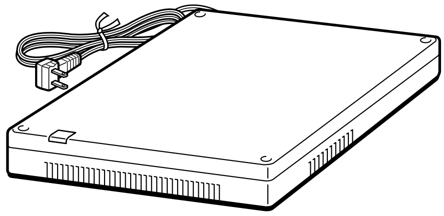
セットを確認してください

次のものがそろっているか、お確かめください。

本体（一式）

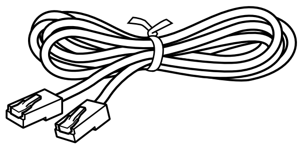


SL-6号電話機本体

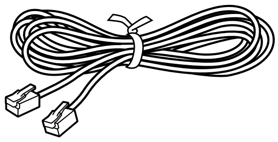


主装置

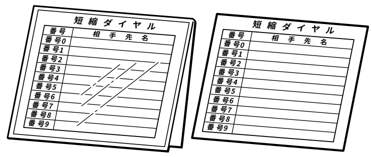
付属品



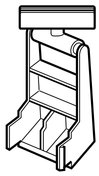
電話機コード
（1本）



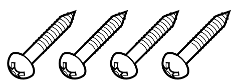
ラインコード
（1本）



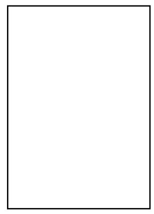
短縮番号カード（2枚）
カードケース（1枚）



カードケースおさえ
（1個）



壁掛け用木ねじ
（4本）



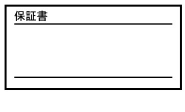
壁掛け工事シート（1枚）



取扱説明書
（1部）



早見表
（1部）



保証書
（1枚）

●主装置は、付属の木ねじと工事シートを使用すると、壁に掛けて使用することもできます。壁に掛けてご使用する際は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。
●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁、落丁があったときには、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

各部の名前とはたらき

前面

液晶ディスプレイ
電話番号、センサ入力、時刻などを表示します。

相談 ボタン
ちょっと困ったときや、相談したいことがあるときに押します。あらかじめ登録されている連絡先に、自動的に電話がつながります。

フックスイッチ

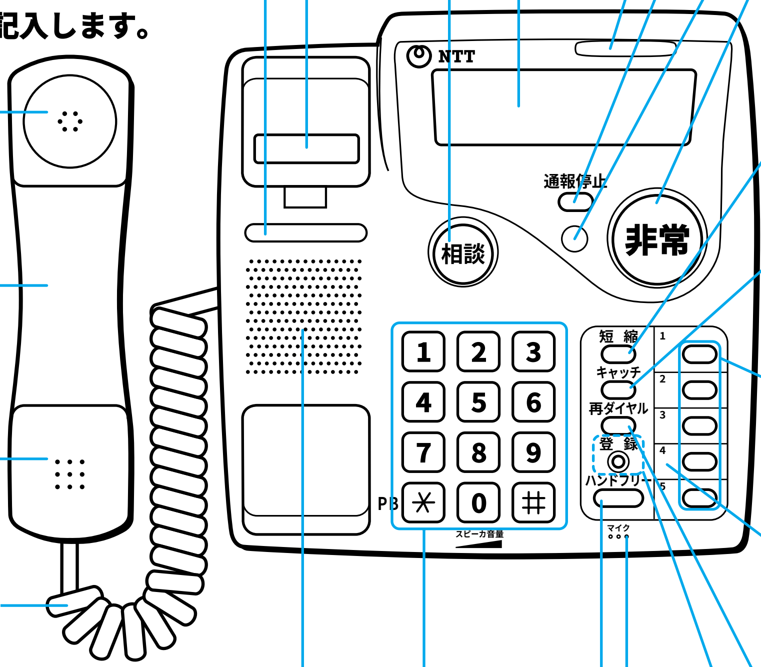
電話番号プレート
ご自分の電話機の電話番号を記入します。

受話口

ハンドセット

送話口

ハンドセットコード



スピーカ
着信音や警報音が出ます。ハンドフリー通話のときは、相手の方の声が聞こえます。

ダイヤルボタン
電話をかけたり、機能の設定や登録に使います。

参考

＊ ＃ ボタンは、通常のダイヤル発信以外の新しいサービスに使用します。

着信ランプ
電話がかかってきたときや、サブコールドアホンからの呼び出しのときに点滅します。

通報停止 ボタン
まちがえて 非常 や 相談 ボタンを押したときに押します。通報が取り消されます。

電源ランプ

非常 ボタン
からだの調子が悪いときなどに押します。あらかじめ登録されている連絡先に、自動的に電話がつながります。

短縮 ボタン
短縮番号で電話をかけるときに押します。

キャッチ ボタン
キャッチホンサービスを受けるときに押します。

ワンタッチ ボタン
ワンタッチボタンに登録してある電話番号に電話するときに押します。

ワンタッチボタンプレート
ワンタッチボタンに登録した相手の名前などを書いておきます。

再ダイヤル ボタン
最後にかけた相手にかけ直すときに押します。

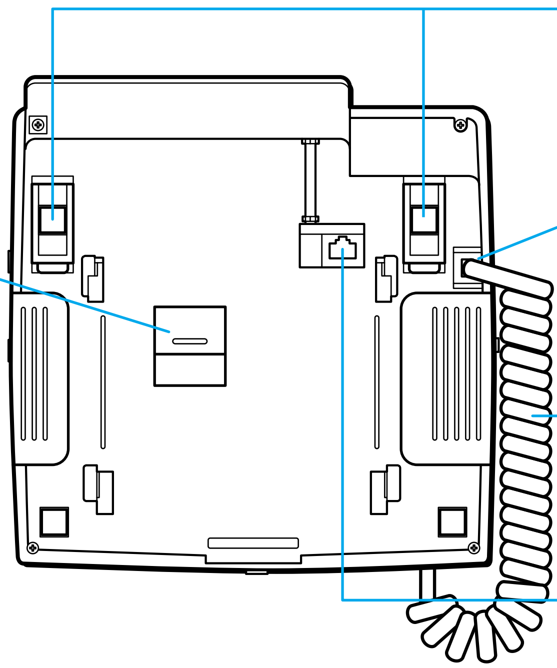
登録 ボタン
各種機能の設定や登録をするときに押します。
※ワンタッチボタンプレートの透明カバーを外すと、登録ボタンがあります。

マイク
ハンドセットを取らずにお話しするときは、ここに話しかけます。

ハンドフリー ボタン
ハンドセットを取らずにお話しするときに押します。

各部の名前とはたらき

裏面



チルトレッグ
SL-6号電話機の角度を変えることができます。

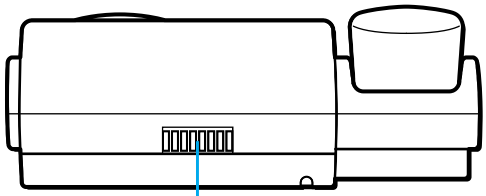
ハンドセットコード差し込み口

各種設定スイッチ（☛P58）
SL-6号電話機の初期設定を確認、変更するためのスイッチです。

ハンドセットコード

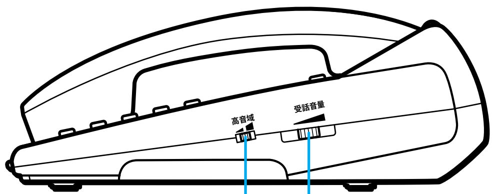
電話機コード差し込み口

上部側面



短縮番号カードケースおさえ取り付け口（☛P31）
短縮番号カードを、カードケースおさえでここに取り付けることができます。

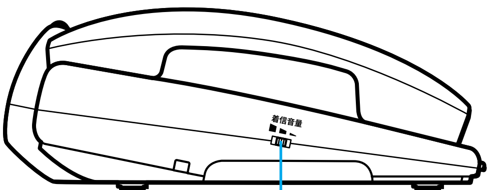
右側面



受話音量 つまみ（☛P33）
相手の方の声が聞こえにくいときに、音量を調節することができます。

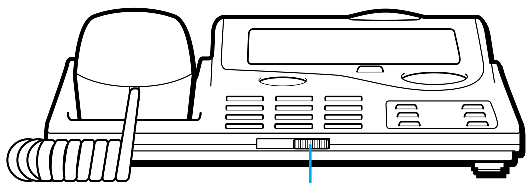
高音域 スイッチ
相手の方の声の高音部が聞こえにくいときに、高音部を強調することができます。

左側面



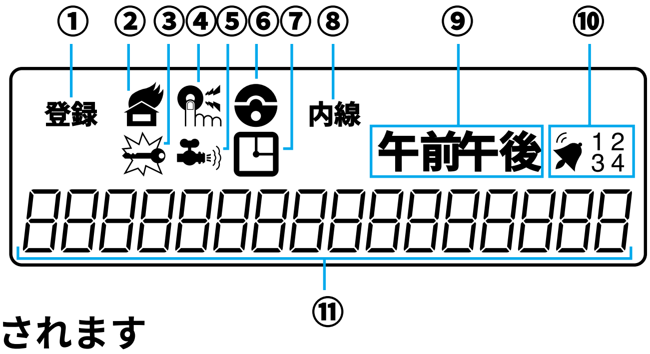
着信音量 スイッチ（☛P33）
電話がかかってきたときの着信音の音量を、3段階で調節することができます。

下部側面



スピーカ音量 つまみ（☛P33）
ハンドフリーで通話しているときに、相手の方の声の音量を調節することができます。

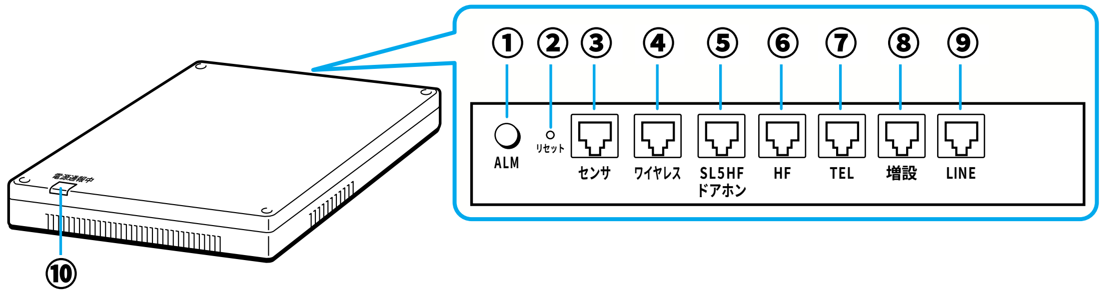
液晶ディスプレイの見方



●こんなときに表示されます

①登録	各種登録を行うとき
②火災センサ	火災センサ通報を行うとき
③防犯センサ	防犯センサ通報を行うとき
④緊急通報	緊急通報を行うとき
⑤ガス漏れセンサ	ガス漏れセンサ通報を行うとき
⑥ハンドセット、ハンドフリー通話	ハンドセット通話のときは を表示。ハンドフリー通話のときは を表示
⑦定時通報	定時通報を行うとき
⑧内線	内線通話を行うとき
⑨午前／午後	午前、午後を表示
⑩アラーム	アラームが設定されているとき
⑪数字、アルファベットなど	電話番号、時刻などの数字、および各種登録用のアルファベットなどを表示しているとき

主装置



①	警報音の音量を調節することができます
②	SL-6号電話機の設定を、初期値にリセットするときに使用します
③	各種センサを接続します
④	ワイヤレスリモートスイッチ用のワイヤレス受信機を接続します
⑤	サブコールドアホンを接続します
⑥	SL6-ハンドフリーボックスを接続します
⑦	SL-6号電話機を接続します
⑧	外部に別の電話機を接続します
⑨	電話線を接続します
⑩	電源が供給されているときに点灯します。通報中は点滅します。

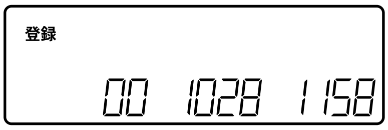
日時を合わせる

時計表示を現在の日時に合わせます。定時通報機能などをご利用のときは、SL-6号電話機の日時に従って通報を行います。

❶ 通報停止 と ハンドフリー を3秒以上いっしょに押します。

「プー」という音のあと、3秒以上押し続けると、日時設定画面が表示されます。



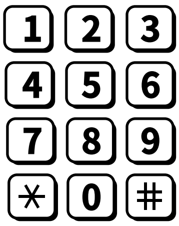


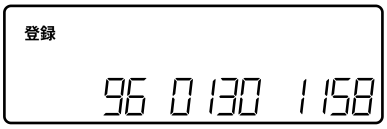
参考
3秒以内に指を離すと、アラーム設定画面が表示されます（☛45ページ）。

❷ ダイヤルボタンで日時を入力します。

西暦は下2桁で入力します。月日は4桁で入力します。時刻は24時間制で入力します。

（例）「96 0130 1158」（96年1月30日 午前11時58分）を入力します。







まちがえたとき
☛ハンドセットをあげてからおろします。手順1から操作し直してください。

❸ 通報停止 を押します。

「プー」という音が鳴り、日時が登録されます。ディスプレイは時計表示に戻ります。





参考

- 入力中に ＊ または ＃ を押すと、入力済みの数字が左右に1桁ずつ点滅します。間違えて入力した数字を点滅させ、正しい数字を入力し直すことができます。
- 操作の途中で約30秒間ボタンを押さないと、登録操作を中止します。もう一度最初から登録をやり直してください。

基本的な機能

ここでは、SL-6号電話機の、
基本的な機能を説明します。



緊急通報する

からだの調子が悪いときなどに、登録してある連絡先に緊急通報できます。

非常 を押します。

「ピーポーピーポー緊急通報」という警報が鳴り、登録してある連絡先に電話がつながります。
ハンドセットを取りあげずにお話しできます。



送信機（別売品）で緊急通報する

別売品の送信機をお使いのときは、電話機から離れていても、ボタン1つで緊急通報できます。

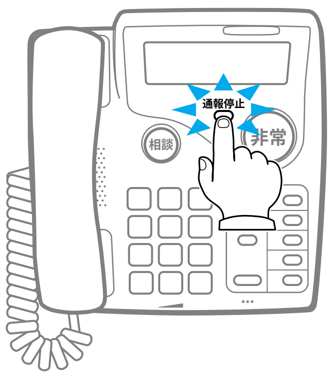
ボタンを押します。

「ピーポーピーポー緊急通報」という警報が鳴り、登録してある連絡先に電話がつながります。
電話に出られないときでも、通報先は異常が発生したことを検知して、適切な処置を取ることができます。



ワンポイント

まちがえたとき
☛ 通報停止



相談電話をかける

ちょっと困ったときや、相談したいことがあるときに、ボタン1つで相談電話をかけることができます。

ハンドセットを取りあげて、相談を押します。

登録してある連絡先に電話がつながります。





電話をかける／受ける

電話をかける

ハンドセットを取りあげて、電話番号を押します。

相手の方が出たらお話しください。



電話を受ける

電話がかかってきたら、ハンドセットを取りあげます。

ディスプレイのバックライトが点灯して、通話時間が表示されます。



参考

- 相手の方の声が聞き取りにくいとき→受話音量 （☛33ページ）
- 相手の方の声の高音部分が聞き取りにくいとき→高音域 （☛33ページ）
- 着信音の音量を変えたいとき→着信音量 （☛33ページ）

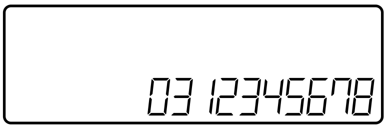
電話番号を確認してかける

ディスプレイで相手の方の電話番号を確認してから、電話をかけることができます。

❶ ハンドセットをおいたまま、電話番号を押します。

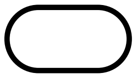
ディスプレイに電話番号が表示されます。





ワンポイント　まちがえたとき☛

通報停止



❷ 間違いがなければ、ハンドセットを取りあげます。

ディスプレイに表示された電話番号に電話がかかります。



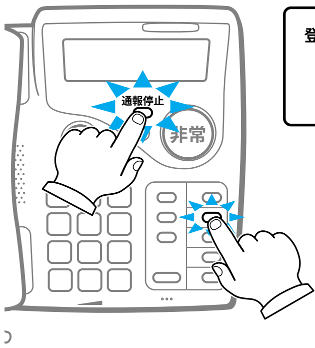
ワンタッチボタンに電話番号を登録する

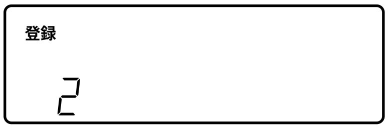
よくかける電話番号を、5か所までワンタッチボタンに登録しておくことができます。

❶ 通報停止 とワンタッチボタンをいっしょに押します。

「プー」という音が鳴ります。

（例）上から2つ目のワンタッチボタンを押します。





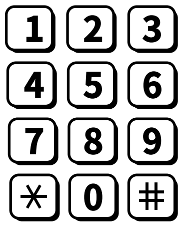
参考

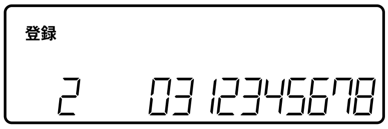
電話番号が登録されていると、登録されている電話番号が表示されます。

❷ 登録したい電話番号を押します。

電話番号は、16桁まで入力できます。再ダイヤルボタンでポーズ（約3秒）が入力できます。

（例）「03-1234-5678」を入力します。





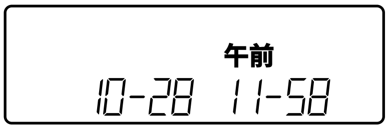


まちがえたとき
☛ハンドセットをあげてからおろします。手順1から操作し直してください。

❸ 通報停止 を押します。

「プー」という音が鳴り、ワンタッチボタンに電話番号が登録されます。ディスプレイは時計表示に戻ります。





参考

- 新しく電話番号を登録すると、前に登録した電話番号は自動的に消えます。
- 登録先は、ワンタッチボタンプレートに書き込んでおくと便利です（☛27ページ）。

ワンタッチボタンで電話をかける

ワンタッチボタンに登録されている電話番号に、ボタン1つで電話することができます。

ハンドセットを取りあげて、ワンタッチボタンを押します。

登録されている電話番号に電話がかかります。



参考
● 相手の方の声が聞き取りにくいとき→ 受話音量 （☛33ページ）
● 相手の方の声の高音部分が聞き取りにくいとき→ 高音域 （☛33ページ）

ワンタッチボタンプレートの使い方

ワンタッチボタンに登録した電話番号の相手先は、ワンタッチボタンプレートに書き込んでおくと便利です。

参照

ワンタッチボタンに電話番号を登録するには→「ワンタッチボタンに電話番号を登録する」（☛25ページ）

❶ ワンタッチボタンプレートの透明カバーを外します。

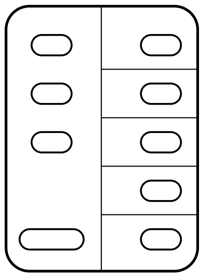
透明カバーの穴に先のとがったものをひっかけて、持ち上げるようにして外します。



❷ ワンタッチボタンプレートを外します。



❸ ワンタッチボタンプレートに、登録した相手先の方の名前などを書き込みます。



❹ ワンタッチボタンプレート、透明カバーを取り付けます。



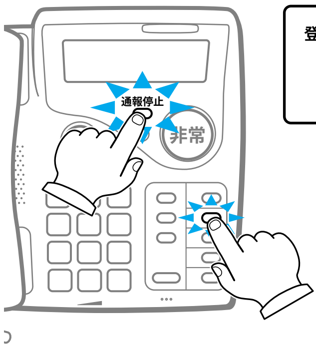
ワンタッチボタンに登録されている電話番号を消す

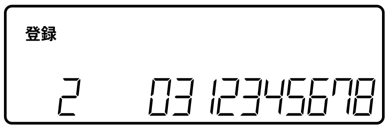
ワンタッチボタンに登録されている電話番号を消します。

❶ 通報停止 と消したい電話番号が登録されているワンタッチボタンをいっしょに押します。

「プー」という音が鳴り、登録されている電話番号がディスプレイに表示されます。

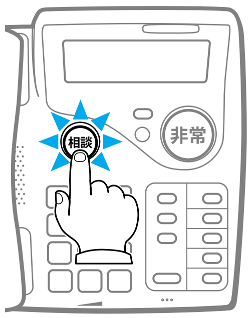
（例） 上から2つ目のワンタッチボタンを押します。

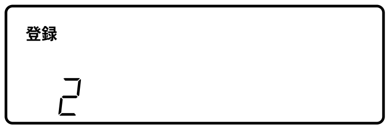




❷ 相談 を押します。

「プー」という音が鳴り、登録されている電話番号が消えます。

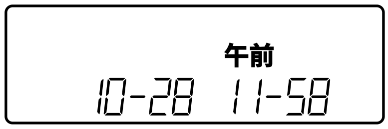




❸ 通報停止 を押します。

ディスプレイが時計表示に戻ります。





参考 新しく電話番号を登録すると、前に登録した電話番号は自動的に消えます。

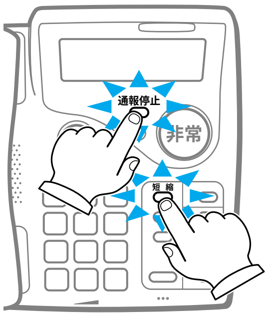
短縮番号を登録する

電話番号を短縮番号に登録しておくと、簡単な操作で電話をかけることができます。ワンタッチボタンでは登録先が足りないときにご利用ください。

参考 短縮番号は、10か所、または20か所まで登録できます。登録できる短縮番号の件数は、初期設定では10か所です。詳しくは、「電話機の初期設定を確認、変更する」（☛58ページ）を参照してください。

❶ 通報停止 と 短縮 をいっしょに押します。

「プー」という音が鳴り、画面に「A」が表示されます。

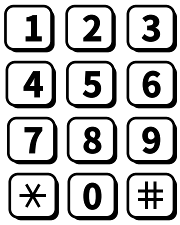




❷ 短縮番号を入力します。

（例）「1」を入力します。

参考
- 右図の画面のように短縮番号が表示されてから、手順3で電話番号を入力してください。
- 20か所を登録できる設定のときは、2桁の短縮番号（00〜19）を入力します。

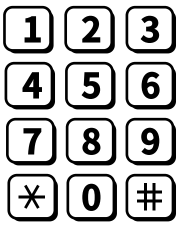


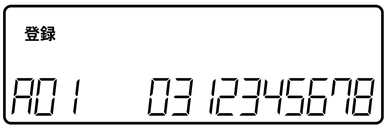


ワンポイント まちがえたとき☛ハンドセットをあげてからおろします。手順1から操作し直してください。

❸ 登録したい電話番号を入力します。

電話番号は、16桁まで入力できます。再ダイヤルボタンでポーズ（約3秒）が入力できます。
（例）「03-1234-5678」を入力します。



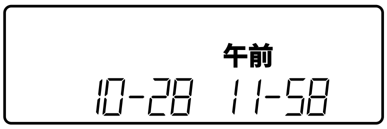


ワンポイント 続けて登録するとき☛ 短縮 を押し、手順2から操作を繰り返します。

❹ 通報停止 を押します。

「プー」という音が鳴り、短縮番号が登録されます。ディスプレイは時計表示に戻ります。





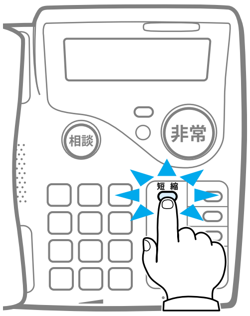
参考
- 新しく短縮番号を登録すると、前に登録した短縮番号は自動的に消えます。
- 登録先は、短縮番号カードに書き込んでおくと便利です（☛31ページ）。

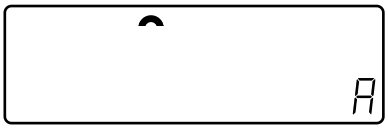
短縮番号で電話をかける

長い電話番号を簡単な操作でかけることができます。

❶ ハンドセットを取りあげて、短縮を押します。

画面に「A」が表示されます。

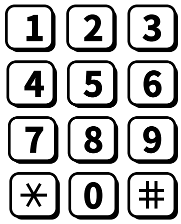


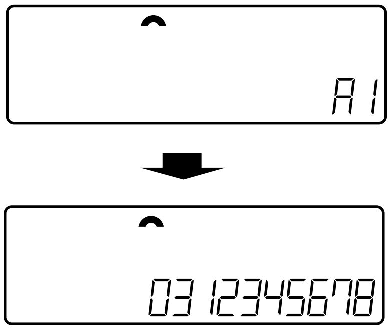


❷ 短縮番号を入力します。

短縮番号の登録先の電話番号に、自動的に電話がかかります。

（例）「1」（登録先「03-1234-5678」）を入力します。





参考 20か所を登録できる設定のときは、2桁の短縮番号（00〜19）を入力します。

参考

- 相手の方の声が聞き取りにくいとき→受話音量（☛33ページ）
- 相手の方の声の高音部分が聞き取りにくいとき→高音域（☛33ページ）

短縮番号カードの使い方

短縮番号に登録した電話番号の相手先は、短縮番号カードに書き込んでおくと便利です。

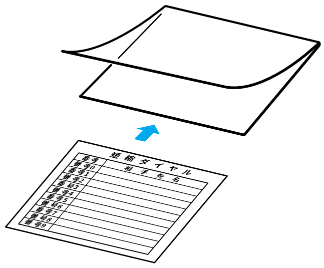
参照

短縮番号を登録するには→「短縮番号を登録する」（☛29ページ）

❶ 短縮番号カードに、登録した相手先の名前などを書き込みます。



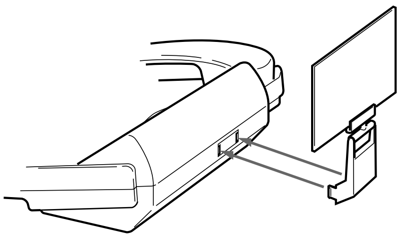
❷ 短縮番号カードをカードケースに入れます。



❸ カードケースをカードケースおさえに取り付けます。



❹ カードケースおさえを、短縮番号カードケースおさえ取り付け口に取り付けます。



登録されている短縮番号を消す

登録されている短縮番号を消します。

❶ 通報停止 と 短縮 をいっしょに押します。

「プー」という音が鳴り、ディスプレイに「A」が表示されます。

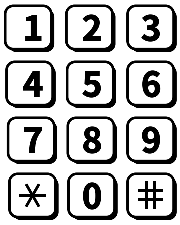


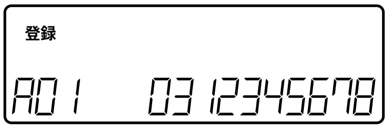


❷ 消したい短縮番号を入力します。

短縮番号に登録されている電話番号が、ディスプレイに表示されます。

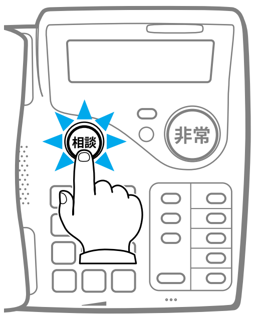
（例）「1」（登録先「03-1234-5678」）を入力します。





❸ 相談 を押します。

「プー」という音が鳴り、登録されている電話番号が消えます。

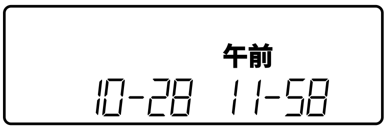




❹ 通報停止 を押します。

ディスプレイが時計表示に戻ります。



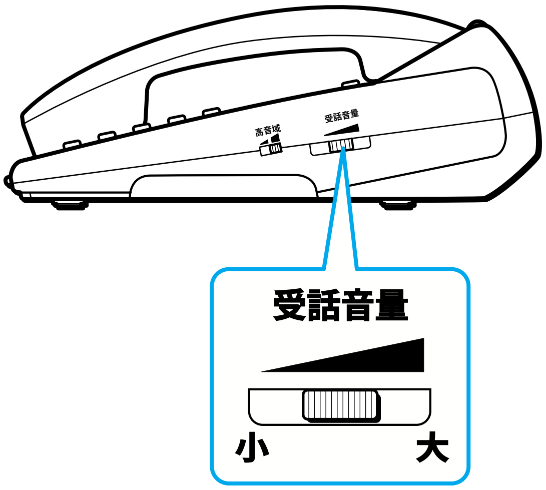


音量、音質を調節する

SL-6号電話機の、音量、音質を調節します。

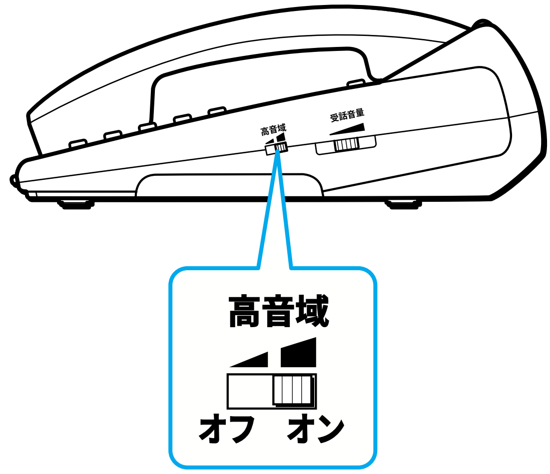
相手の方の声が聞き取りにくいとき

受話音量を調節します。
〈電話機右側面〉



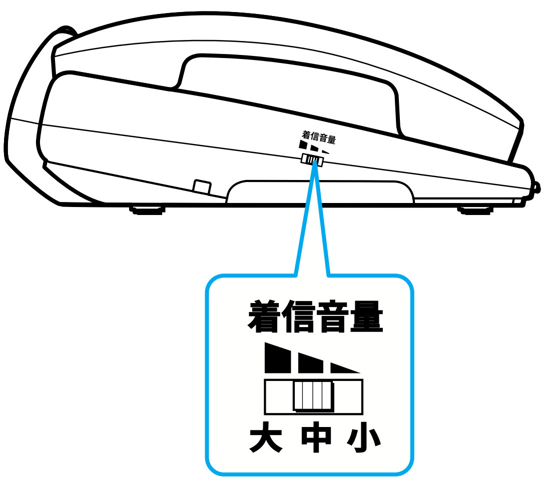
相手の方の声の高音部分が聞き取りにくいとき

高音域をオンにします。
〈電話機右側面〉



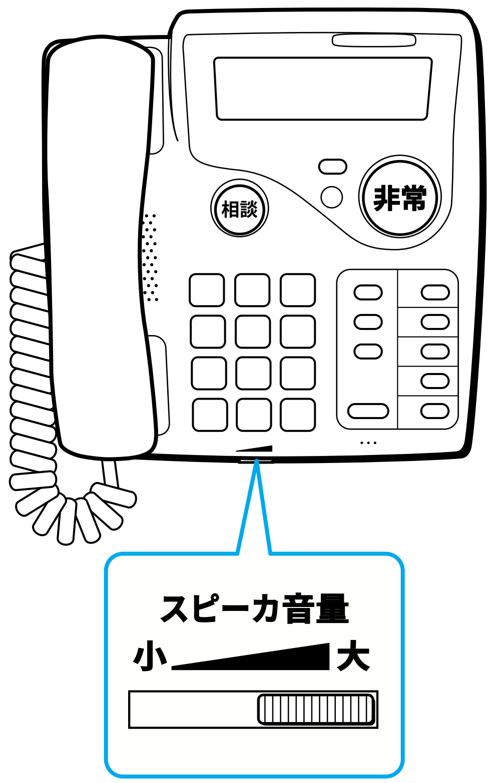
着信音の音量を変えたいとき

着信音量を調節します。
〈電話機左側面〉



スピーカの音量を変えたいとき

スピーカ音量を調節します。
〈電話機下部側面〉

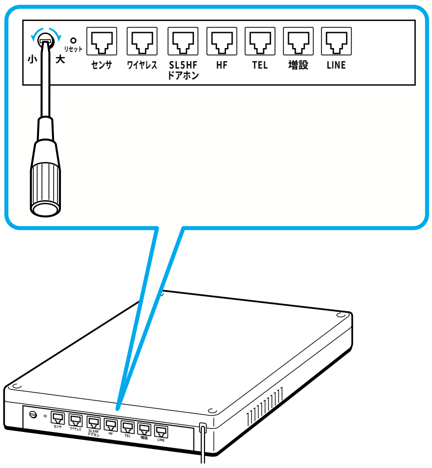


音量、音質を調節する

警報音の音量を変えたいとき

主装置の ALM を、マイナスまたはプラスドライバで調節します。

〈主装置背面〉



便利な機能あれこれ

ここでは、SL-6号電話機を、より便利にお使いいただくための機能を説明します。



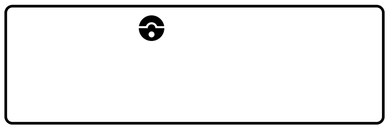
ハンドセットをおいたまま電話をかける

簡単な操作で、ハンドセットをおいたまま電話をかけることができます。

❶ ［ハンドフリー］を押します。

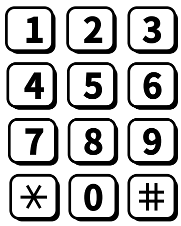
スピーカから「ツー」という発信音が聞こえます。

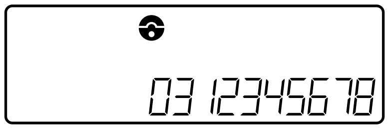




❷ 電話番号を押します。

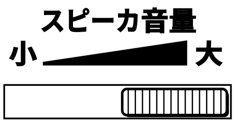
相手の方が出たら、マイクに向かってそのままお話しください。相手の方の声はスピーカから聞こえます。







相手の方の声が聞こえにくいとき☛



❸ おはなしがおわったら、［ハンドフリー］を押します。

電話が切れ、ディスプレイが時計表示に戻ります。



ハンドセットをおいたまま電話を受ける

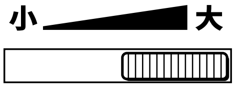
ボタン1つで、ハンドセットをおいたまま電話を受けることができます。

❶ 電話がかかってきたら、ハンドフリーを押します。

マイクに向かってそのままお話しください。相手の方の声はスピーカから聞こえます。



ワンポイント **相手の方の声が聞こえにくいとき☛**



❷ おはなしがおわったら、ハンドフリーを押します。

電話が切れ、ディスプレイが時計表示に戻ります。



参考
- マイクとの距離は、約60cm以内を目安としてお話しください。
- 相手の方が話し終えてから話し始めると、よりスムーズにお話しできます。

最後にかけた相手の方に電話をかけ直す

相手の方がお話し中だったときや、言い忘れたことがあるときに、ボタン1つで電話をかけ直せます。

ハンドセットを取りあげて、再ダイヤルを押します。

最後にかけた電話番号に、自動的にかかります。



17桁以上ダイヤルしたときには、電話番号は再ダイヤルに記憶されません。

参考 ハンドセットをおいたまま再ダイヤルを押すと、押すたびにかけた電話番号が3回前までさかのぼって表示されます。かけ直したい電話番号を表示させてハンドセットを取りあげると、自動的に電話がかかります。

キャッチホンを受ける

キャッチホンサービスは、電話中に別の相手の方からかかってきた電話を受けられるサービスです。ボタン1つで相手を切り替えながらお話しすることができます。

参考

キャッチホンサービスは、当社の有料サービスです。料金などの詳細は、局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

通話中にキャッチホンの信号音が聞こえたら、キャッチ を押します。

別の相手の方からかかってきた電話を受けることができます。



ワンポイント

元の相手の方と話したいときは

☛ **キャッチ**

参考

- 相手の方の声が聞き取りにくいとき→ 受話音量 （☛33ページ）
- 相手の方の声の高音部分が聞き取りにくいとき→ 高音域 （☛33ページ）

内線電話を登録する

SL-6号電話機は、SL6-ハンドフリーボックスやサブコールドアホンとの内線電話機能を備えています。内線電話の登録は、次の手順で行います。

Step1 ：ワンタッチボタンに内線ボタンを割り付ける
Step2 ：内線ボタン（ワンタッチボタン）に内線番号を登録する

参考

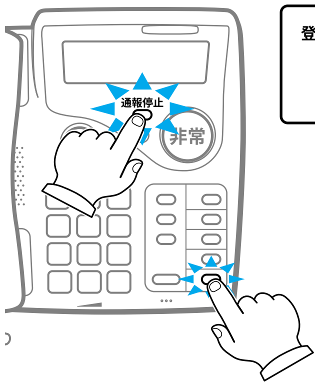
Step2は省略できます。省略したときは内線ボタン（ワンタッチボタン）を押してから内線番号を入力して、内線電話をかけます。

Step1：ワンタッチボタンに内線ボタンを割り付ける

1 **通報停止 とワンタッチボタンをいっしょに押します。**

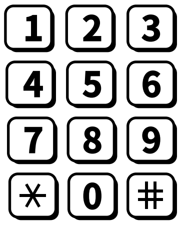
「プー」という音が鳴ります。

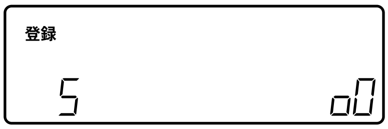
（例）上から5つ目のワンタッチボタンを押します。





2 **# と 0 を押します。**

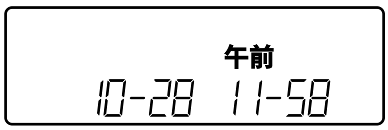




3 **通報停止 を押します。**

「プー」という音が鳴り、ワンタッチボタンに内線ボタンが割り付けられます（ここでは上から5つ目のワンタッチボタン）。ディスプレイは時計表示に戻ります。





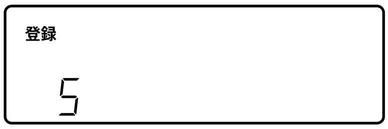
Step2：内線ボタン（ワンタッチボタン）に内線番号を登録する

❶ 通報停止 とワンタッチボタンをいっしょに押します。

「プー」という音が鳴ります。

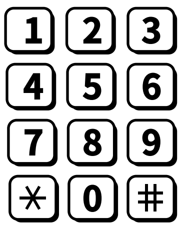
（例）上から5つ目のワンタッチボタンを押します。





❷ # を押し、登録したい内線番号を入力します。

（例）「1」を入力します。
内線番号は、電話機に接続されている機器によって異なります。次の表を参照してください。





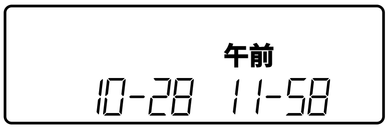
●接続可能な機器と内線番号

機器名	内線番号
SL6-ハンドフリーボックス（3台まで）	1〜3
サブコールドアホン（1台のみ）	6

❸ 通報停止 を押します。

「プー」という音が鳴り、内線ボタン（ワンタッチボタン）に内線番号1が割り付けられます。ディスプレイは時計表示に戻ります。





参考
- 新しく内線番号を登録すると、前に登録した内線番号は自動的に消えます。
- 登録先は、ワンタッチボタンプレートに書き込んでおくと便利です（☛27ページ）。

内線電話をかける

内線電話は、SL6-ハンドフリーボックスのスピーカから、直接相手の方に呼びかけることができるスピーカ呼び出し、または一般の電話と同じ信号呼び出しでかけることができます。

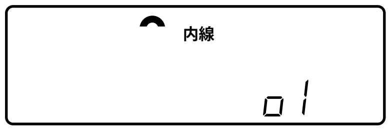
スピーカ呼び出しで内線電話をかける

ハンドセットを取りあげて、内線ボタン（ワンタッチボタン）を押します。

SL6-ハンドフリーボックスのスピーカから、直接相手の方に呼びかけることができます。相手の方の声も、そのままの状態で聞こえます。

（例）上から5つ目のワンタッチボタン（内線番号「1」）を押します。





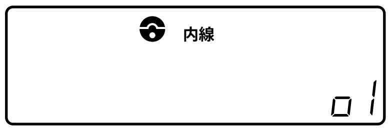
信号呼び出しで内線電話をかける

ハンドセットをおいたまま、内線ボタン（ワンタッチボタン）を押します。

相手の方が出たらハンドセットを取りあげて、お話しください。

（例）上から5つ目のワンタッチボタン（内線番号「1」）を押します。





参考 内線ボタン（ワンタッチボタン）に内線番号が登録されていないときは、内線ボタンを押してから内線番号を入力します（☛40ページ）。

登録されている内線番号を消す

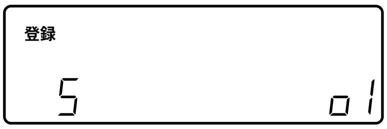
内線ボタン（ワンタッチボタン）に登録されている内線番号を消します。

❶ 通報停止 と消したい内線番号のワンタッチボタンをいっしょに押します。

「プー」という音が鳴り、登録されている内線番号がディスプレイに表示されます。

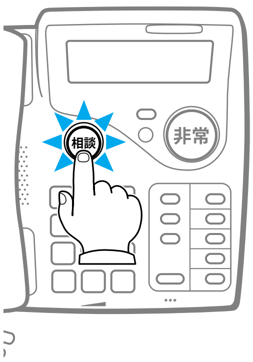
（例）上から5つ目のボタンを押します。





❷ 相談 を押します。

「プー」という音が鳴り、登録されている内線番号が消えます。

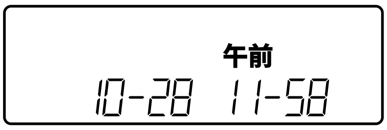




❸ 通報停止 を押します。

ディスプレイが時計表示に戻ります。





参考 新しく内線番号を登録しても、前に登録した内線番号は自動的に消えます。

ダイヤル回線からプッシュ信号を送る

SL-6号電話機をダイヤル回線でお使いのときでも、ボタン1つでプッシュ信号に切り替えることができます。プッシュ信号を使用すると、航空券の予約、クレジット電話サービス、ポケットベルサービスなど、さまざまなプッシュホンサービスがご利用いただけます。

通話中に ＊ を押し、ダイヤルボタンを押します。

＊ を押したあとに入力した番号は、プッシュ信号で送られます。

参考 電話を切ると、再びダイヤル信号に戻ります。



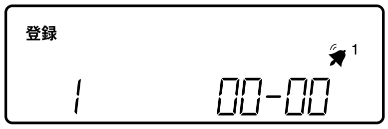
指定した時刻にアラームを鳴らす

時刻を指定して、アラームを鳴らすことができます。目覚ましの替わりなどにご利用ください。

❶ 通報停止 と ハンドフリー を いっしょに押します。

「プー」という音が鳴ります。



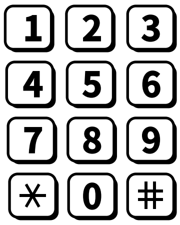


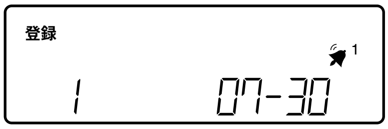
参考
3秒以上押すと、時刻設定画面が表示されます（☛P18）。

❷ ダイヤルボタンでアラームを鳴らす時刻を入力します。

時刻は24時間制で入力します。

（例）「0730」（午前7時30分）を入力します。





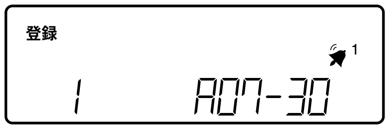
ワンポイント
まちがえたとき
☛ハンドセットをあげてからおろします。
手順1から操作し直してください。

参考
アラームを鳴らす時刻は、4つまで登録できます。
ハンドフリー を押すと、アラーム「1→2→3→4→1→･･･」の順で切り替わります。

❸ 一番上のワンタッチボタンを押します。

時刻の前に「A」が表示され、アラームがセットされます。

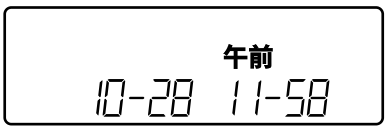




❹ 通報停止 を押します。

「プー」という音が鳴り、ディスプレイが時計表示に戻ります。





参考
- 入力中に ＊ または ＃ を押すと、入力済みの数字が左右に1桁ずつ点滅します。間違えて入力した数字を点滅させ、正しい数字を入力し直すことができます。
- アラームは、約1分間鳴ります。途中でアラームを止めるときは、通報停止 を押します。

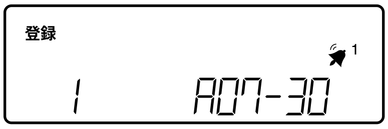
アラームを解除する

一度セットしたアラームは、解除するまで毎日鳴り続けます。ここではセットしたアラームの解除方法を説明します。

❶ 通報停止 と ハンドフリー を いっしょに押します。

「プー」という音が鳴ります。セットしてあるアラーム時刻が表示されます（時刻の前には「A」が表示されています）。





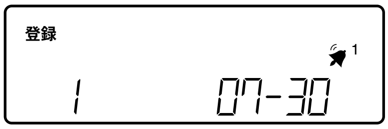
参考

3秒以上押すと、時刻設定画面が表示されます（☛P18）。

❷ 一番上のワンタッチボタンを押します。

時刻の前の「A」が消え、セットしてあるアラーム時刻が解除されます。





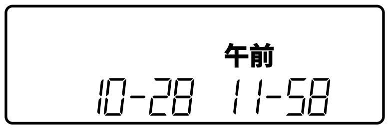
参考

アラームを鳴らす時刻は、4つまで登録できます。ハンドフリー を押すと、アラーム「1→2→3→4→1→･･･」の順で切り替わります。

❸ 通報停止 を押します。

「プー」という音が鳴り、ディスプレイが時計表示に戻ります。





火災、ガス漏れ、防犯用センサをご利用のとき

SL-6号電話機には、火災、ガス漏れ、防犯用などの市販のセンサを、4つまで接続することができます。センサが異常を感知したときは、あらかじめ登録してある連絡先に自動的に通報します。

センサが異常を感知すると警報音が鳴り、あらかじめ登録してある連絡先に通報します。

通報先が応答すると、警報音が停止します。みなさまがお留守のときは、一定時間、お部屋の様子を通報先に伝えます。



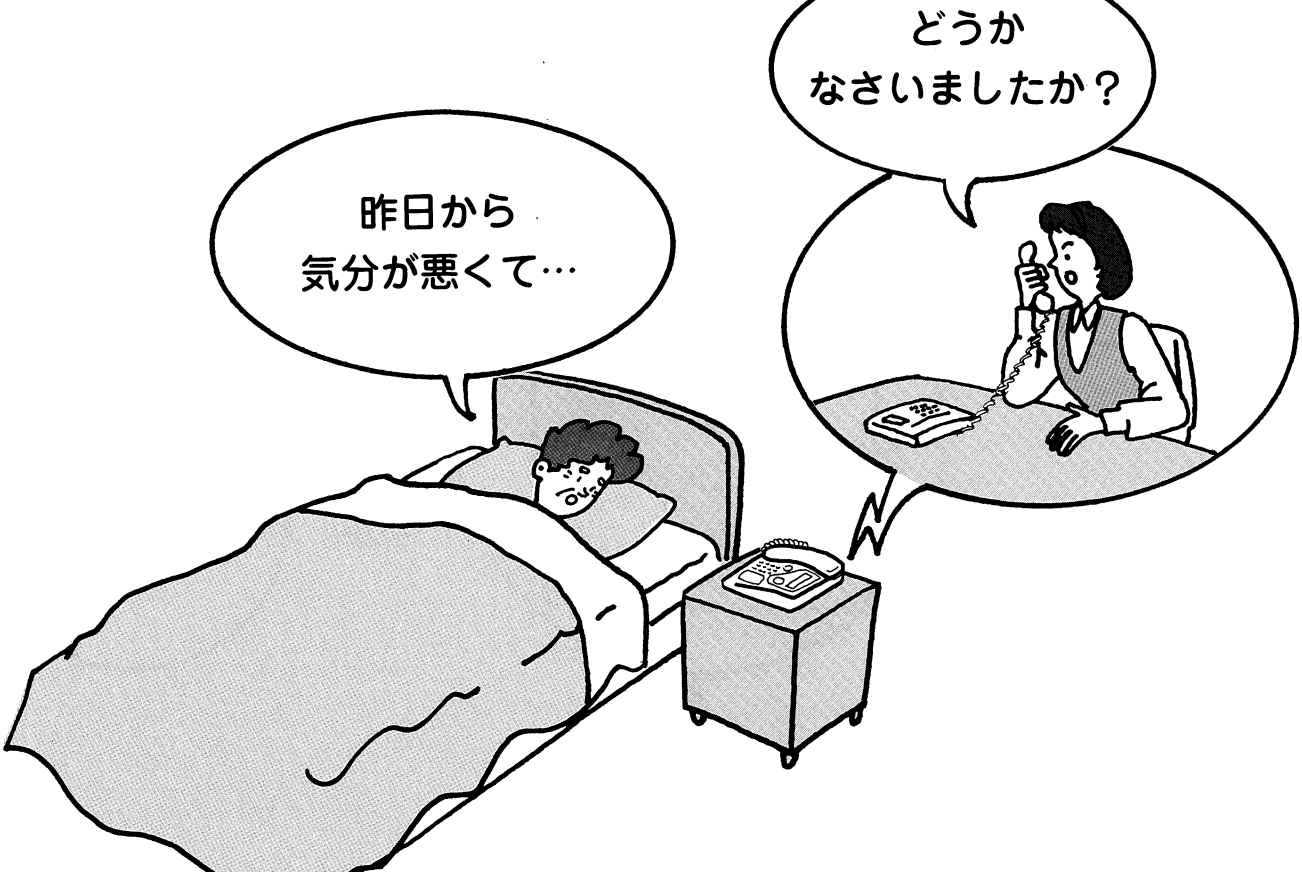
定時通報機能をご利用のとき

定時通報機能は、プライバシーを守りながらみなさまの安全を確認する機能です。

生活リズムセンサでの定時通報機能

ドアやトイレなどに取り付けたセンサから、みなさまの生活状態を確認します。

（例）毎日午前10時に定時通報を設定しているとき
24時間、一度もトイレやお部屋への出入りがないときは、あらかじめ登録してある連絡先に通報します。



電話機での定時通報機能

みなさまの電話機、および電話回線に異常がないことを確認します。

（例）毎日午後2時に定時通報を設定しているとき
電話機、および電話回線に異常があったときは、定時通報を行いません。通報先は、定時通報がないため、みなさまの電話機、および電話回線に異常があったことがわかります。

ハンドフリーボックス（別売品）をお使いのとき

ハンドフリーボックスをご利用になると、電話機から離れていても緊急通報、相談電話をかけることができます。また、かかってきた電話を、ハンドセットを持たずに受けることができます。

緊急通報する

からだの調子が悪いときなどに、登録してある連絡先に緊急通報できます。

非常 を押します。

**警報音が鳴り、登録してある連絡先に電話がつながります。
そのままマイクに向かってお話しください。**



ワン
ポイント

まちがえたとき
☛ **通報停止**



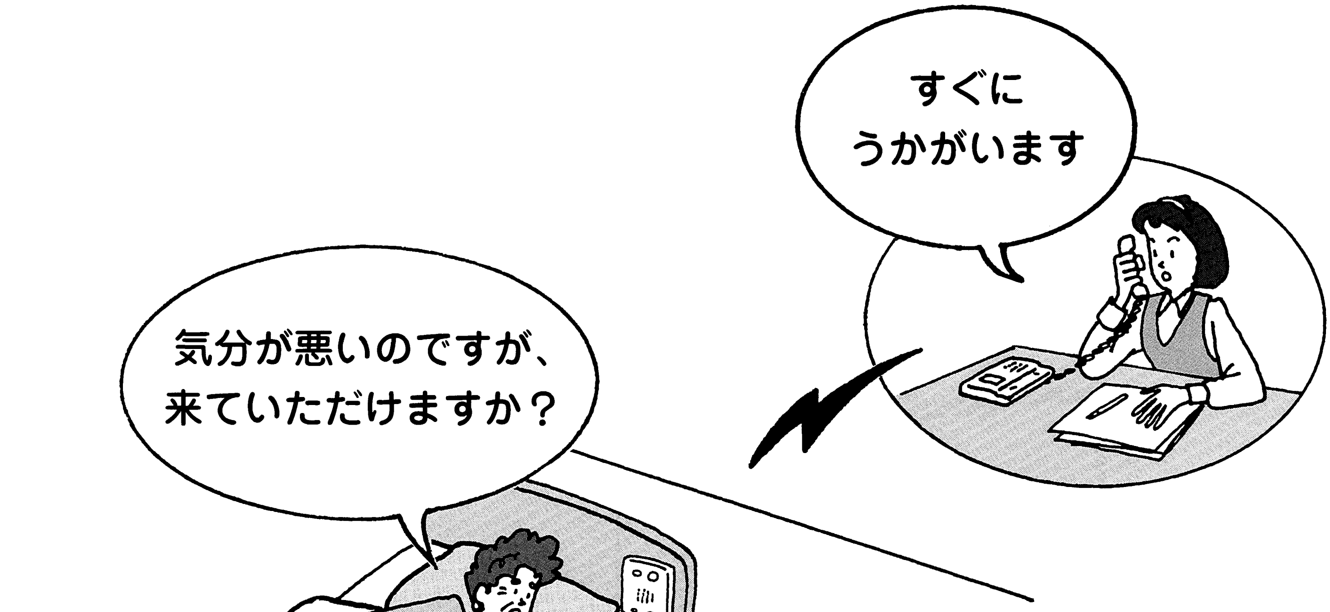
ハンドフリーボックス（別売品）をお使いのとき

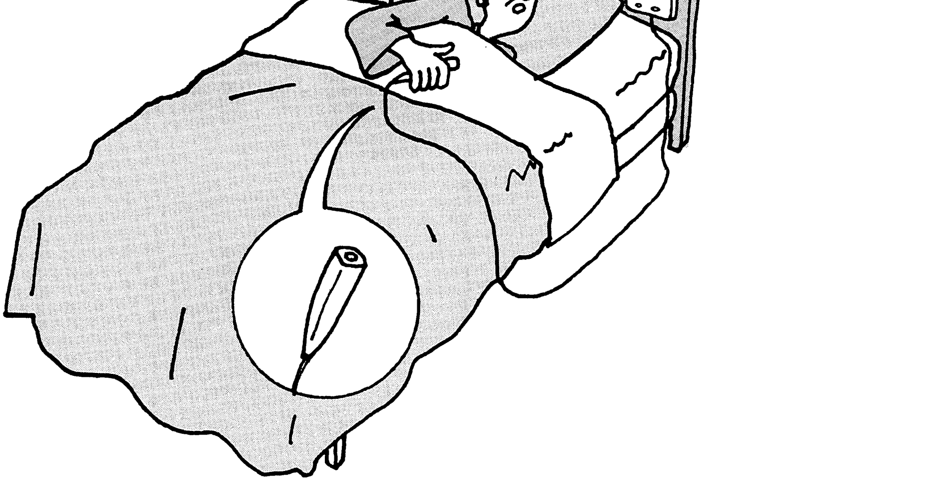
リモートスイッチS（別売品）で緊急通報する

ハンドフリーボックスに別売品のリモートスイッチSを接続しているときは、スイッチを押すだけで登録してある連絡先に緊急通報できます。

スイッチを押します。

警報音が鳴り、登録してある連絡先に電話がつながります。
そのままマイクに向かってお話しください。





ワンポイント

まちがえたとき
☛ 通報停止

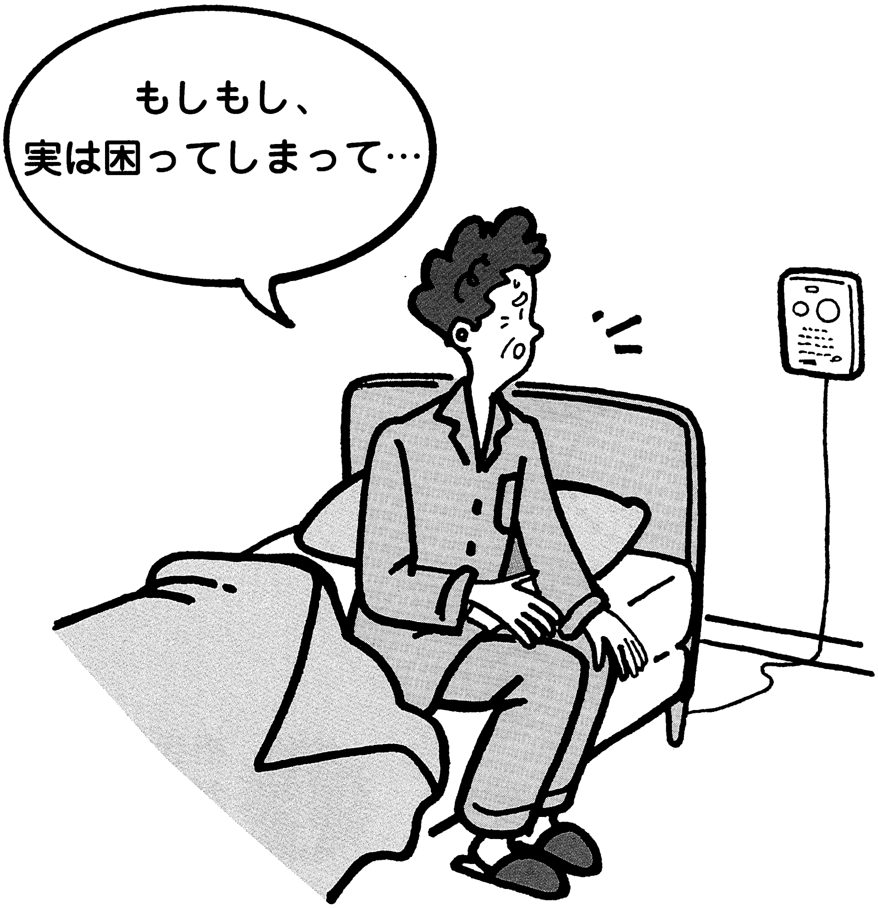


相談電話をかける

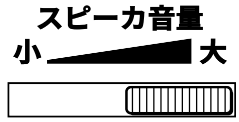
ちょっと困ったときや、相談したいことがあるときに、ボタン1つで相談電話をかけられます。

相談を押します。

登録してある連絡先に電話がつながります。そのままマイクに向かってお話しください。



ワンポイント 相手の方の声が聞こえにくいとき☛



ワンポイント まちがえたとき ☛ 通報停止



便利な機能あれこれ　ハンドフリーボックス（別売品）をお使いのとき

ハンドフリーボックス（別売品）をお使いのとき

外線電話や内線電話を受ける

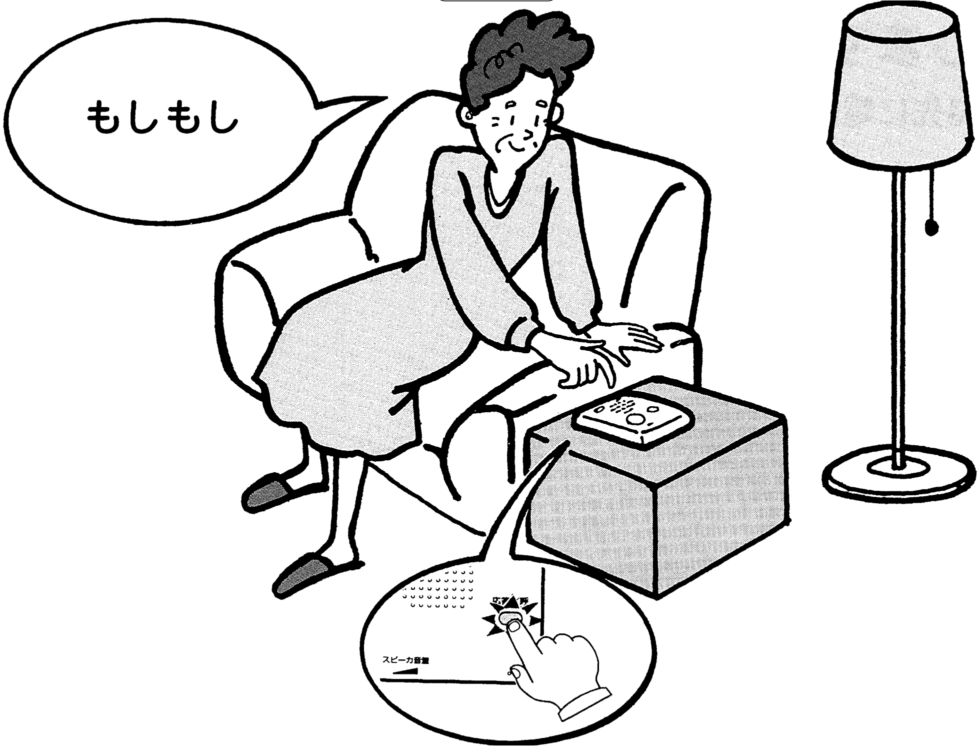
外線電話や内線電話を、ボタン1つで受けることができます。

1 応答／呼 を押します。

そのままマイクに向かってお話しください。

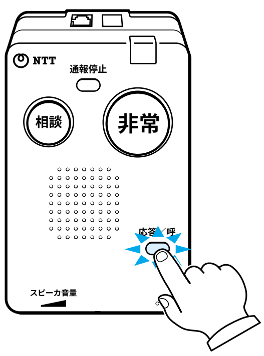
参考

内線電話をかけたいときは、応答／呼 を押します。



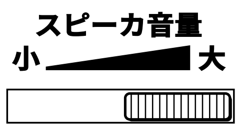
2 お話しがおわったら、もう一度 応答／呼 を押します。

電話が切れます。



ワンポイント

相手の方の声が聞こえにくいとき☛



サブコールドアホン（別売品）をお使いのとき

別売品のサブコールドアホンを取り付けておくと、SL-6号電話機をインターホンとしてご利用になることができます。

サブコールドアホンの 呼 が押されると、SL-6号電話機からドアホン着信音（ピンポーン）が流れます。

ハンドセットをあげてお話しできます。

参考
- 呼 が押されると、SL-6号電話機の着信ランプが30秒間点滅します。着信ランプが点滅している間に、ハンドセットを取りあげてお話しください。
- 緊急通報時などに、通報先が応答するまでの間、警報音をサブコールドアホンのスピーカから鳴らすことができます。



電話機を遠隔操作する

通報時のハンドフリー通話、または通報データ伝達終了後の30秒の間に、SL-6号電話機を遠隔操作（テレコントロール）することができます。遠隔操作は、プッシュ信号の送れる電話機から行います。

❶ 遠隔操作内容に対応したダイヤルボタンを押します。

遠隔操作が正しく行われると、「ピッピッ」という音が聞こえます。聞こえないときは、もう一度操作を行ってください。

●遠隔操作内容一覧

ダイヤルボタン	操作内容
0 0 ＊	SL-6号電話でハンドフリー通話を行うことができます。
1 0 ＊	SL6-ハンドフリーボックス1でハンドフリー通話を行うことができます。
2 0 ＊	SL6-ハンドフリーボックス2でハンドフリー通話を行うことができます。
3 0 ＊	SL6-ハンドフリーボックス3でハンドフリー通話を行うことができます。
4 ＊	マイクをオンにすることができます。
5 ＊	マイクをオフにすることができます。
6 ＊	ハンドフリー通話時間を延長（無限）にすることができます。
7 ＊	接点出力　動作（警報機を接続しているとき）を行うことができます。
8 ＊	接点出力　復旧（警報機を接続しているとき）を行うことができます。
9 ＊	電話を切ることができます。

❷ 9と＊を押します。

「ピー」という音が約1秒間聞こえ、電話が切れます。

参考

通報時の遠隔操作で9と＊を押すと、他の連絡先には通報せずに、通報を完了します。

その他の便利な機能のご紹介

通常は、みなさまがご自分で操作されることはありませんが、知っておいていただきたいその他の便利な機能をご紹介します。

電池切れ通報機能（☛P69）

停電やコンセント抜けなどでSL-6号電話機の蓄電池の容量が一定より下がると、スピーカから「電話機の電池切れです」というメッセージが3回聞こえます。電池切れが近いことを、あらかじめ登録してある連絡先に通報することもできます。

参考　停電になってから電池切れ通報を行うまでの時間は、48時間以上充電しているときで約2～3時間です。電話機の使用状況や、停電通報の動作状況により、さらに短くなることもあります。

緊急通報優先機能（☛P72）

SL-6号電話機に他の電話機が接続されているときに、［非常］が押されたりセンサからの異常が検出されると、他の電話機の通話を強制的に中止し、優先的に通報を行うことができます。

参考　通報を行うために他の電話機の通話を強制的に終了するときは、通話を強制終了することを知らせるメッセージ（「緊急通報のために電話を切ります」）が流れます。通報中は、他の電話機は無音になり、ご使用できなくなります。

着信自動応答機能（☛P68）

電話がかかってきたときに自動的に応答し、ハンドフリー通話を行うことができます。
着信自動応答機能を設定したときに、プライバシー保護のため、マイクをオフに設定し、相手の方の声だけを聞くこともできます。

停電のとき

SL-6号電話機の主装置に別売品の蓄電池が取り付けられているときは、停電のときでも一定時間、通報などを行います。

停電になったとき

スピーカから「停電です」というメッセージを3回鳴らします。
停電になったことを、あらかじめ登録してある連絡先に通報することもできます。

停電中は

・停電から6時間以内のとき
停電前までに、蓄電池が48時間以上充電されているときは、1回以上の緊急通報を行うことができます。ただし、ハンドフリー通話をしたあとや、電話機の設定によっては、停電から6時間以内であっても、緊急通報を行えないことがあります。
・蓄電池の容量がすべてなくなったとき
通報を行えません。電話をかけたり受けたりすることはできます。ただし、着信音の大きさを変えることはできません。

参考

- 電池切れ通報（☛P69）を設定しているときは、電池の容量が少なくなると、連絡先に自動的に通報します。
- 停電時の動作可能時間は、停電通報の状況、および電話機の使用状態などで短くなることがあります。

停電がおわったとき

ディスプレイに表示される時計表示を確認してください（☛P18）。
停電がおわったことを、あらかじめ登録してある連絡先に通報することもできます（☛P69）。

⚠警告	電源プラグが正しく差し込まれていないと、停電になったことを知らせる警告メッセージが聞こえたり、通報が行われることがあります。電源プラグは正しく差し込み、決して抜かないでください。

電話機の設定と接続方法

ここでは、SL-6号電話機を設置される方のために、
電話機の各種機能の設定方法と、
接続（配線）方法をまとめて説明します。

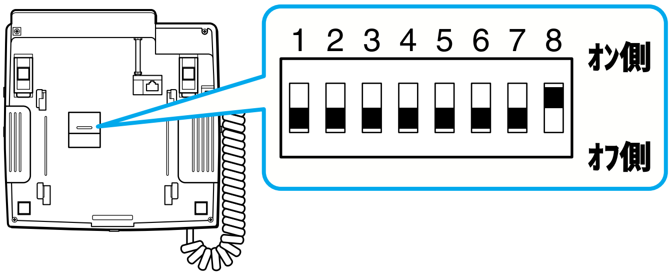


電話機の初期設定を確認、変更する

電話回線の種別やダイヤルスピードなど、電話機の初期設定を確認、変更します。SL-6号電話機を設置する際に、最初に行ってください。各種設定スイッチのオン、オフを切り替えて設定します。

電話機裏の各種設定スイッチで、電話機の初期設定を確認、変更します。

先の尖ったもので、設定項目ごとに、各種設定スイッチのオン、オフを設定します。



〈電話機裏面〉

●各種設定スイッチの設定項目一覧

スイッチNo.	設定項目	機能内容	設定	
			オン	オフ
1	ワンタッチボタンの発信	オフのときは、ハンドセットを取りあげるか、ハンドフリーを押したあとに、ワンタッチボタンを使用できます。オンのときは、ワンタッチボタンを押すだけで電話をかけられます。	ワンタッチ	ツータッチ
2	キータッチトーン	キーを押したときに、確認音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。	鳴らさない	鳴らす
3	ダイヤル音声ガイダンス	ダイヤルを押したときに、音声ガイダンスを流すか流さないかを設定します。	流す	流さない
4	常夜灯、電源LEDの点灯	常夜灯と電源LEDを点灯させるか消灯させるかを設定します。	点灯しない	点灯する
5	短縮ダイヤル登録宛先数	登録できる短縮ダイヤルの宛先数を10か所、または20か所から選択できます。	20か所	10か所
6	未使用	オフで使用します。	—	—
7	停電時のダイヤルスピード	ダイヤルスピードを設定します。＊	20PPS	10PPS
8	停電時のダイヤル種別	電話回線が、プッシュ回線かダイヤル回線かを設定します。＊	プッシュ回線(PB)	ダイヤル回線(DP)

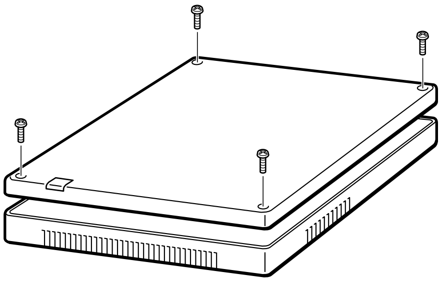
＊ダイヤル種別やダイヤルスピードがわからないときは、局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

蓄電池（別売品）を取り付ける

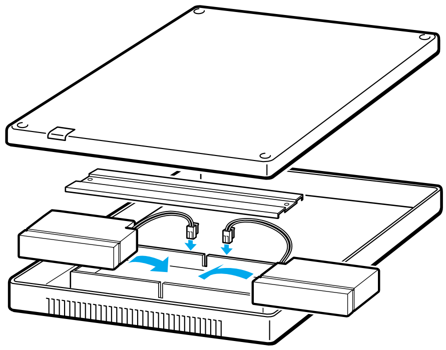
別売品の蓄電池2個を主装置に取り付けます。蓄電池が取り付けてあると、停電のときでも一定の間は通報などを行うことができます。

❶ 主装置のふたを開けます。

ふたと本体は、ランプのコードで接続されています。強く引っ張らないでください。



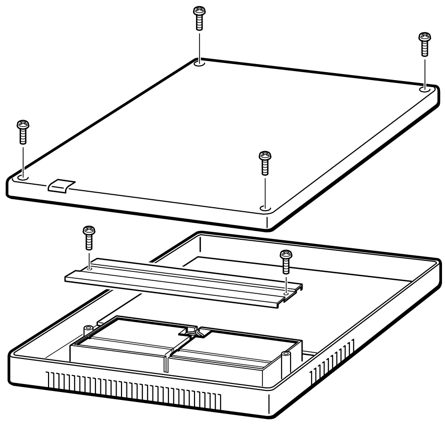
❷ 蓄電池のコネクタを、それぞれBATCN1、BATCN2に接続します。



参考

蓄電池をコネクタに接続すると、「電話機の電池切れです。」と3回メッセージが流れることがありますが、故障ではありません。

❸ 主装置のふたを閉めます。



参考

蓄電池は充電されていません。最初に取り付けたあと、充電されるまでに約48時間かかります。

⚠警告	壁掛け等により主装置を立ててご利用になる場合には、電池の上下方向が逆にならないようにご注意ください。電池は上下どちらの方向でも実装できますので、壁掛けの方向に合わせて電池を実装してください。

通報内容を設定する

緊急時の通報先と通報方式を登録し、通報項目ごとに、通報順序、通報回数を設定します。登録はワンタッチボタンプレートの透明カバーを外して行います。

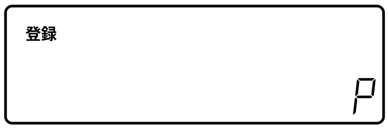
通報先と通報方式を登録する

通報先は14か所まで登録できます。通報方式は4パターンから選択できます。

❶ 通報停止 と 登録 をいっしょに押します。

「プー」という音が鳴り、「P」が表示されます。

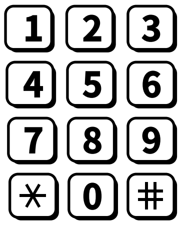




❷ 通報先の登録番号を入力します。

登録番号は、「01～14」（14か所）のいずれかを入力します。

（例）「01」を入力します。





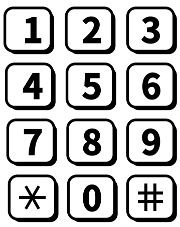
参考

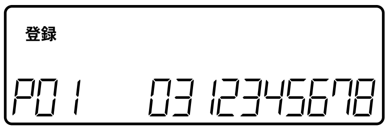
すでに通報先が登録されていると、登録されている電話番号が表示されます。
相談 を押すと、データが消去されます。

❸ 通報先の電話番号を入力します。

電話番号は、通報方式の登録番号を含めて16桁まで入力できます。

（例）「03-1234-5678」を入力します。





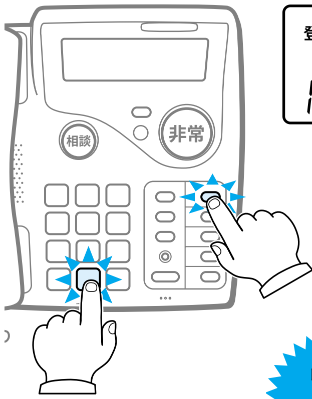
STOP お願い

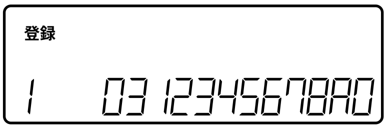
登録にあたっては、通報先の方にあらかじめ了解を得てください。

❹ 通報方式の登録番号を入力します。

通報方式は、下表から選択します。「A」（上から一番目のワンタッチボタンを押す）のあとに、「0～3」の数字を入力します。

（例）「A0」（データ通報）を入力します。





ワンポイント 続けて登録するとき☛登録ボタンを押し、手順2から操作を繰り返します。

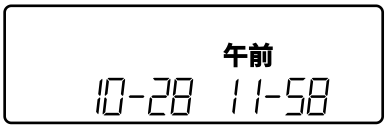
●通報方式一覧

登録番号	通報方式	内容
A0	データ通報	通報先に通報の内容をプッシュ信号で伝えます。通報先に専用の受信機が必要です。
A1	音声通報	通報先に通報の内容を音声メッセージで伝えます。
A2	ポケットベル通報	通報先をポケットベルに設定し、通報の内容をポケットベルの画面に表示します。
A3	データ通報＋音声通報	通報先に通報の内容をプッシュ信号で伝えたあと、さらに音声メッセージで通報の内容を伝えます。

❺ 通報停止 を押します。

「プー」という音が鳴り、通報先と通報方式が登録されます。ディスプレイは時計表示に戻ります。





ワンポイント 途中で登録をやめるとき☛ハンドセットをあげてからおろします。

ワンポイント PBX内線および着信無料番号などの相手応答時の回線転極がない場合は、電話番号の前に上から2番目のワンタッチボタンを押して「P」を表示させます。

通報内容を設定する

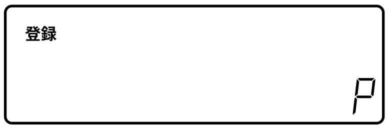
通報項目ごとに通報順序と通報回数を設定する

通報回数は、1回から9回まで設定できます。通報先が出るまで通報を繰り返すこともできます。
通報の終了条件は、「1宛先通報」と「全宛先通報」を選択できます。「1宛先通報」は、通報先のいずれかが応答すれば通報終了です。「全宛先通報」は、登録した通報先がすべて応答すれば通報終了です。

❶ 通報停止 と 登録 をいっしょに押します。

「プー」という音が鳴り、「P」が表示されます。

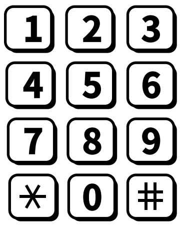


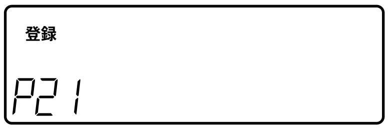


❷ 通報項目の登録番号を入力します。

選択項目は右の表から選択します。

（例）「21」（非常 通報）を入力します。





参考
すでに通報項目が登録されていると、登録されている通報順序と通報回数が表示されます。相談 を押すと、データが消去されます。

●通報項目一覧

登録番号	通報項目	
21	緊急通報	非常 通報
22		リモートスイッチ（別売品）通報*
23		送信機（別売品）通報
24		センサ1通報
25		センサ2通報
26		センサ3通報
27		センサ4通報
28		電池切れ通報
29	相談 通報	
30	定時発信1通報	
31	定時発信2通報	
32	停電／復電通報	
33	外出／帰宅通報	
34	テスト通報	

＊SL-6号主装置に接続したリモートスイッチSに対応します。

❸ 通報順序を、通報先登録番号で入力します。



通報先登録番号は、「1〜9（登録番号01〜09）」および「A〜E（登録番号10〜14）」で入力します。

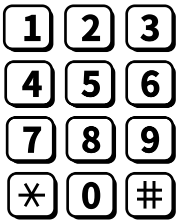
（例）「12AC」（通報先登録番号、1、2、10、12の順で通報）を入力します。

●通報先登録番号の入力方法

登録番号	入力方法	画面表示
01〜09	ダイヤルボタン 1 〜 9 で入力	1〜9
10	上から1番目のワンタッチボタンで入力	A
11	上から2番目のワンタッチボタンで入力	b
12	上から3番目のワンタッチボタンで入力	C
13	上から4番目のワンタッチボタンで入力	d
14	上から5番目のワンタッチボタンで入力	E

通報内容を設定する

❹ 再ダイヤル を押して区切り（␣）を入力したあとに、通報回数を入力します。





1〜9：1〜9回通報します。
0　：相手の方が応答するまで通報します。

（例）「3」（通報回数3回）を入力します。

参考

通報回数のあとに「A」（上から1番目のワンタッチボタンを押す）を入力すると、「全宛先通報」（登録してある通報先がすべて応答すれば通報終了）になります。

ワンポイント 続けて登録するとき☛登録ボタンを押し、手順2から操作を繰り返します。

❺ 通報停止 を押します。





「プー」という音が鳴り、通報順序と通報回数が登録されます。ディスプレイは時計表示に戻ります。

ワンポイント 途中で登録をやめるとき☛ハンドセットをあげてからおろします。

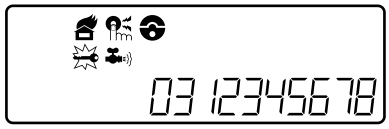
通報機能をテストする

**SL-6号電話機に通報先を登録したときは、テスト通報を行います。
テスト通報は、事前に通報先とお打ち合わせのうえ、行ってください。**

❶ 通報停止 を押し続けながら、非常 を押します。

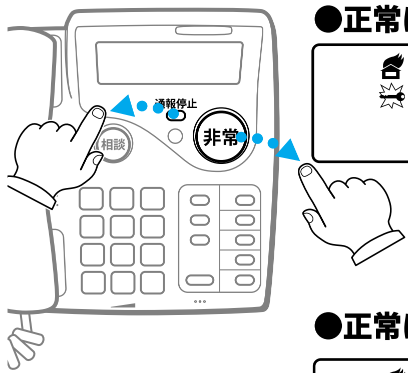
テスト通報を開始します。



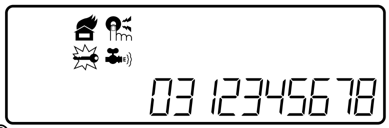


❷ 通報停止 と 非常 を離します。

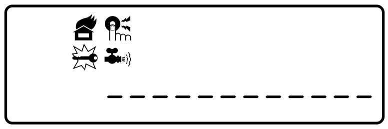
**テスト通報が完了すると、通報先の電話番号が表示されます。
通報が正常に行われなかったときは、「－－－－－－－」が表示されます。**



●正常に終了したとき



●正常に行われなかったとき



❸ 通報停止 を押します。

ディスプレイが時計表示に戻ります。



電話機の各種機能設定を変更する

必要に応じて、SL-6号電話機の各種機能設定を変更することができます。

❶ 通報停止 と 登録 をいっしょに押します。

「プー」という音が鳴り、「P」が表示されます。

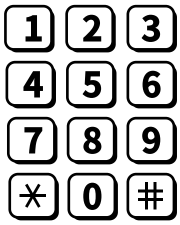


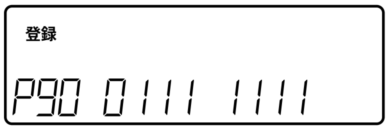


❷ 機能設定の登録番号を入力します。

登録番号は、「71～74、81、82、90～99」（16項目）のいずれかを入力します（「機能設定一覧」☛P67）。入力した機能設定の、初期値が表示されます。

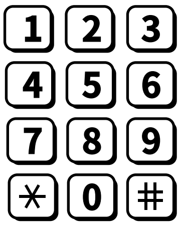
（例）「90」（「ダイヤル種別、着信拒否」）を入力します。

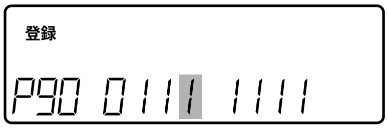




❸ 初期値を変更します。

＊ キーを押すとカーソルが左に移動します。 ＃ キーを押すとカーソルが右に移動します。変更したい設定値の下にカーソルを移動して、新しい設定値を入力します。





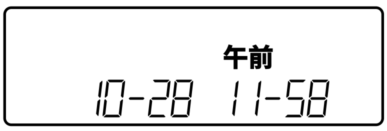


続けて変更するとき☛登録ボタンを押し、手順2から操作を繰り返します。

❹ 通報停止 を押します。

「プー」という音が鳴り、変更した設定値が登録されます。ディスプレイは時計表示に戻ります。







途中で変更をやめるとき☛ハンドセットをあげてからおろします。

機能設定一覧

**各表の「初期値」は、登録番号を入力するとディスプレイに表示される初期値を、左端から順に説明したものです。
初期値を変更したときは、「ユーザ設定値」に書き込んでおくと便利です。**

●データIDコード（登録番号：71）

（初期値=なし）

項目	機能内容	設定	初期値	ユーザ設定値
データIDコード	データ通報時のデータIDコードを設定します。	最大16桁まで設定できます。	なし	

●音声IDコード（登録番号：72）

（初期値=なし）

項目	機能内容	設定	初期値	ユーザ設定値
音声IDコード	音声通報時のIDコードを設定します。*	最大16桁まで設定できます。	なし	

＊「＿」（の）は 再ダイヤル で入力します。

●ポケベルIDコード（登録番号：73、74）

（初期値=なし）

項目	機能内容	設定	初期値	ユーザ設定値
ポケベルIDコード	ポケットベル通報時の表示データを設定します。*	16桁までのIDコードは73に、17桁以上は74に設定できます。	なし	

＊「＿」（3秒ポーズ）は 再ダイヤル で入力します。
「P」（情報コード挿入）は、上から2つ目のワンタッチボタンで入力します。

●定時通報設定（登録番号：81、82）

（初期値=00 0000 0010）

項目	機能内容	設定	初期値	ユーザ設定値
通報日時	通報日時を「00日00時00分」で設定します。*	00:日 00:時 00:分	00 0000	
通報間隔	通報する間隔の単位を設定します。	0:日単位で通報 1:時間単位で通報	0	
通報間隔	通報間隔を設定します。	01〜24	01	
―	―	―	0**	

＊　新たに設定した通報日時は、次回の通報から適用されます。
＊＊必ず「0」に設定してください。

電話機の各種機能設定を変更する

●ダイヤル種別、着信拒否（登録番号：90）
（初期値=0111 1111）

項目	機能内容	設定	初期値	ユーザ設定値
ダイヤル種別	電話回線の種別を設定します。	0:PB 1:10pps 2:20pps	0	
電話機	着信音のオン、オフを設定します。	0:鳴らない 1:鳴る	1	
SL6-ハンドフリーボックス1	着信音のオン、オフを設定します。	0:鳴らない 1:鳴る	1	
SL6-ハンドフリーボックス2	着信音のオン、オフを設定します。	0:鳴らない 1:鳴る	1	
SL6-ハンドフリーボックス3	着信音のオン、オフを設定します。	0:鳴らない 1:鳴る	1	
SL5-ハンドフリーボックス1	着信音のオン、オフを設定します。	0:鳴らない 1:鳴る	1	
SL5-ハンドフリーボックス2	着信音のオン、オフを設定します。	0:鳴らない 1:鳴る	1	
SL5-ハンドフリーボックス3	着信音のオン、オフまたは、サブコールドアホンの接続を設定します。	0:鳴らない 1:鳴る 2:サブコールドアホン(警告音あり) 3:サブコールドアホン(警告音なし)	1	

●機能選択1（登録番号：91）
（初期値=1190 3000）

項目	機能内容	設定	初期値	ユーザ設定値
着信自動応答	着信時の自動応答の可否を設定します。	0:応答不可 1:応答可	1	
着信自動応答時のマイク	ハンドフリー通話時のマイクのオン、オフを設定します。	0:オフ 1:オン	1	
着信自動応答遅延時間	着信から自動応答までの時間を設定します。	00～99:0～99秒	90	
着信自動応答のハンドフリー通話時間	自動応答のハンドフリー通話時間を設定します。	1～9:1～9分 0:無限	3	
接点出力	接点出力を設定します。	0:通報動作時 1:相手応答後 2:動作否	0	
ワイヤレス	受信機の伝送方式を設定します。	0:3出力 1:シリアルモード対応	0	
ー	ー	ー	0*	

＊必ず「0」に設定してください。

●機能選択2（登録番号：92）
（初期値=0020 0003）

項目	機能内容	設定	初期値	ユーザ設定値
警報音モード	緊急通報時に電話機から流れる警報音の種類を設定します。	0:警報音+メッセージ 1:警報音のみ	0	
警報音	緊急通報時に電話機から流れる警報音の音色を設定します。	0:警報音1 1:警報音2	0	
ドアホン警報音	緊急通報時にドアホンから警報音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。	0:鳴らさない 1:鳴らす 2:接続なし	2	
定時発信1の条件設定	定時通報で通報間隔を設定しているときに、通報条件を設定します。	0:定期（毎回）通報 1:異常時のみ通報	0	
定時発信1のメッセージ反転	通報方式が音声のときに、異常あり、なしのメッセージを反転させることができます。	0:050(センサ入力なしのとき異常とみなします。) 1:051(センサ入力ありのとき異常とみなします。)	0	
通報停止方法	定時、外出、帰宅、停電及び復電通報の取り消し方法を設定します。	0:通報停止 1:通報停止 + #	0	
データ通報方式	データ通報方式を設定します。	0: SL3 (応答信号 800Hz) 1: SL5 (応答信号 800Hz) 2: SL3 (応答信号 DTMF"A") 3: SL5 (応答信号 DTMF"A") 4: SL6 (応答信号 DTMF"A")	0	
信号減衰レベル	信号減衰レベルを設定します。	0,1,2,3:0～3×3dB	3	

●通報の有無（登録番号：93）
（初期値=0000 1100）

項目	機能内容	設定	初期値	ユーザ設定値
センサ1断線	センサ1が断線したときの通報を設定します。	0:通報しない 1:通報する	0	
センサ2断線	センサ2が断線したときの通報を設定します。	0:通報しない 1:通報する	0	
センサ3断線	センサ3が断線したときの通報を設定します。	0:通報しない 1:通報する	0	
センサ4断線	センサ4が断線したときの通報を設定します。	0:通報しない 1:通報する	0	
電池切れ通報	停電時などに、蓄電池の容量が低下したときの通報を設定します。	0:通報しない 1:通報する	1	
相談通報	相談が押されたときの通報を設定します。	0:通報しない 1:通報する	1	
停電/復電通報	停電したときおよび復旧したときの通報を設定します。	0:通報しない 1:通報する	0	
外出／帰宅通報	ワンタッチボタンを外出／帰宅ボタンに設定したときに、ボタンのオン、オフで、外出、帰宅を選択します。	0:通報しない 1:通報する	0	

電話機の各種機能設定を変更する

●オプションタイマ設定（登録番号：94）

（初期値=0000 0033）

項目	機能内容	設定	初期値	ユーザ設定値
非常通報警報遅延時間	非常通報（＊）の起動から緊急通報するまでの時間を設定します。	00～99:0～99秒（1秒単位）	00	
センサ1通報警報遅延時間	センサ1が異常を感知してから緊急通報するまでの時間を設定します。	0～9:0～9分（1分単位）	0	
センサ2通報警報遅延時間	センサ2が異常を感知してから緊急通報するまでの時間を設定します。	0～9:0～9分（1分単位）	0	
センサ3通報警報遅延時間	センサ3が異常を感知してから緊急通報するまでの時間を設定します。	0～9:0～9分（1分単位）	0	
センサ4通報警報遅延時間	センサ4が異常を感知してから緊急通報するまでの時間を設定します。	0～9:0～9分（1分単位）	0	
停電通報遅延時間	停電してから通報するまでの時間を設定します。	0～9:0～9分（1分単位）	3	
通報時のハンドフリー通話時間	緊急通報時のハンドフリー通話時間を設定します。	1～9:1～9分（1分単位） 0:無限	3	

＊非常ボタン、ワイヤレスペンダント、リモートスイッチの通報に適用

●センサ1-4設定（登録番号：95）

（初期値=0000 0001）

項目	機能内容	設定	初期値	ユーザ設定値
センサ1	センサ1の接点入力方式を設定します。	0:メーク 1:ブレーク	0	
センサ2	センサ2の接点入力方式を設定します。	0:メーク 1:ブレーク	0	
センサ3	センサ3の接点入力方式を設定します。	0:メーク 1:ブレーク	0	
センサ4	センサ4の接点入力方式を設定します。	0:メーク 1:ブレーク	0	
センサ1	センサ1の通報方式を設定します。	0:センサ 1:定時1	0	
センサ2	センサ2の通報方式を設定します。	0:センサ 1:定時1	0	
センサ3	センサ3の通報方式を設定します。	0:センサ 1:定時1	0	
センサ4	センサ4の通報方式を設定します。	0:センサ 1:定時1	1	

●音声フレーズ設定（登録番号：96）
（初期値=0001 2399）

項目	機能内容	設定	初期値	ユーザ設定値
非常メッセージ	非常 での緊急通報時のメッセージを設定します。	0〜9:（0:緊急通報）	0	
リモートスイッチメッセージ	リモートスイッチでの緊急通報時のメッセージを設定します。	0〜9:（0:緊急通報リモート）	0	
送信機メッセージ	送信機での緊急通報時のメッセージを設定します。	0〜9:（0:緊急通報ペンダント）	0	
センサ1メッセージ	センサ1の通報時のメッセージを設定します。	0〜9:（0:センサ1異常）	1	
センサ2メッセージ	センサ2の通報時のメッセージを設定します。	0〜9:（0:センサ2異常）	2	
センサ3メッセージ	センサ3の通報時のメッセージを設定します。	0〜9:（0:センサ3異常）	3	
センサ4メッセージ	センサ4の通報時のメッセージを設定します。	0〜9:（0:センサ4異常）	9	
相談メッセージ	相談 での通報時のメッセージを設定します。	0〜9:（0:相談がありまず）	9	

【メッセージの種類】

設定値	メッセージ	設定値	メッセージ
0	上表参照	5	異常発生2
1	火災発生	6	異常発生3
2	ガス漏れ発生	7	異常発生4
3	盗難発生	8	メッセージなし（「こちらは･･･です」）
4	異常発生1	9	メッセージなし

電話機の各種機能設定を変更する

●警報音有無（登録番号：97）

（初期値=1111 1110）

項目	機能内容	設定	初期値	ユーザ設定値
非常、リモートスイッチ	非常、リモートスイッチを押したときの警報音を設定します。	0:鳴らさない 1:鳴らす	1	
送信機	送信機を押したときの警報音を設定します。	0:鳴らさない 1:鳴らす	1	
センサ1	センサ1通報時の警報音を設定します。	0:鳴らさない 1:鳴らす	1	
センサ2	センサ2通報時の警報音を設定します。	0:鳴らさない 1:鳴らす	1	
センサ3	センサ3通報時の警報音を設定します。	0:鳴らさない 1:鳴らす	1	
センサ4	センサ4通報時の警報音を設定します。	0:鳴らさない 1:鳴らす	1	
電池切れ	電池切れ通報時の警報音を設定します。	0:鳴らさない 1:鳴らす	1	
相談	相談を押したときの警報音を設定します。	0:鳴らさない 1:鳴らす	0	

●優先通報選択（登録番号：98）

（初期値=1111 1110）

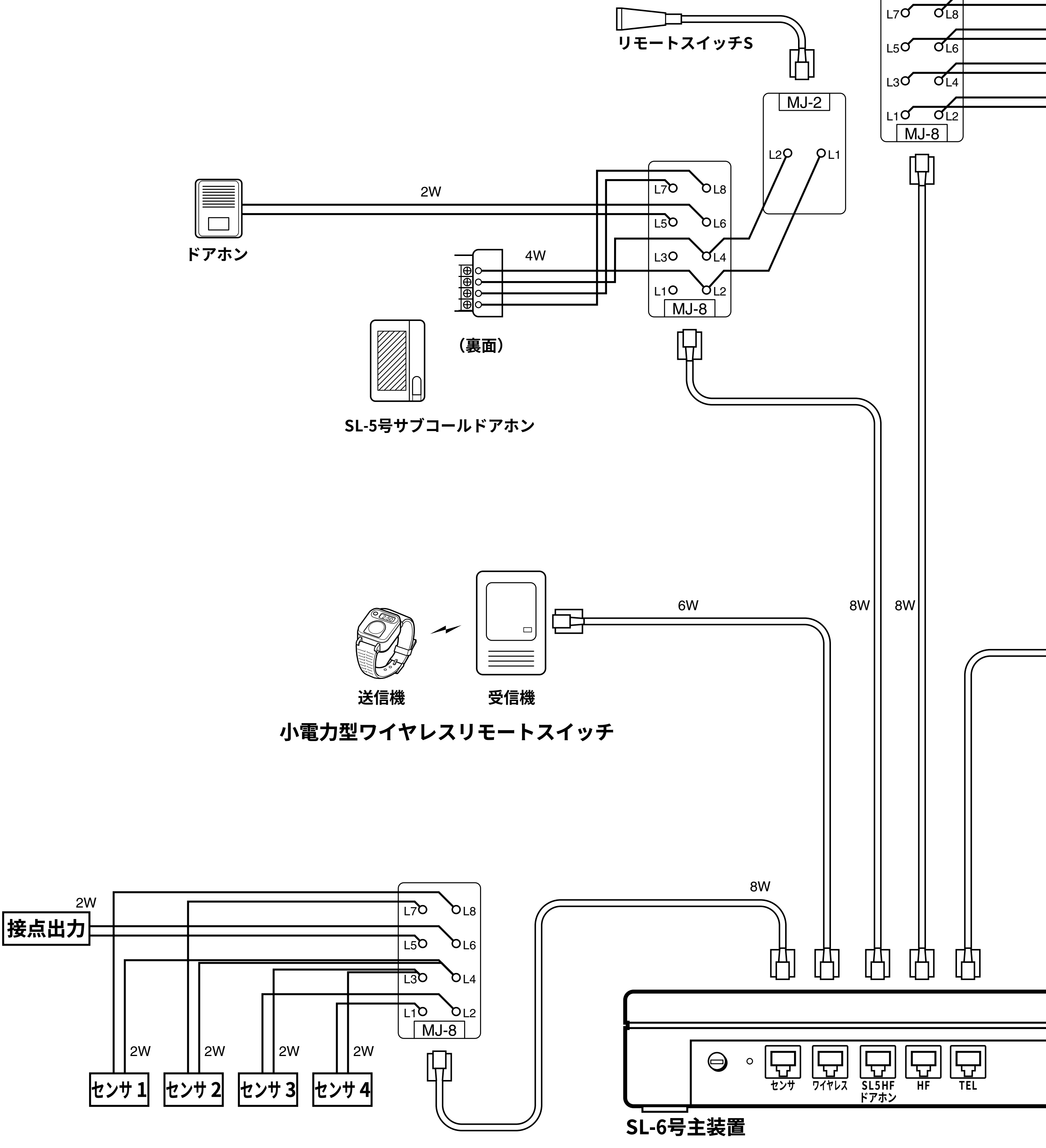
項目	機能内容	設定	初期値	ユーザ設定値
非常、リモートスイッチ	非常、リモートスイッチによる緊急通報を優先して行います。	0:非優先 1:優先	1	
送信機	送信機による緊急通報を優先して行います。	0:非優先 1:優先	1	
センサ1	センサ1通報を優先して行います。	0:非優先 1:優先	1	
センサ2	センサ2通報を優先して行います。	0:非優先 1:優先	1	
センサ3	センサ3通報を優先して行います。	0:非優先 1:優先	1	
センサ4	センサ4通報を優先して行います。	0:非優先 1:優先	1	
電池切れ	電池切れ通報を優先して行います。	0:非優先 1:優先	1	
相談	相談通報を優先して行います。	0:非優先 1:優先	0	

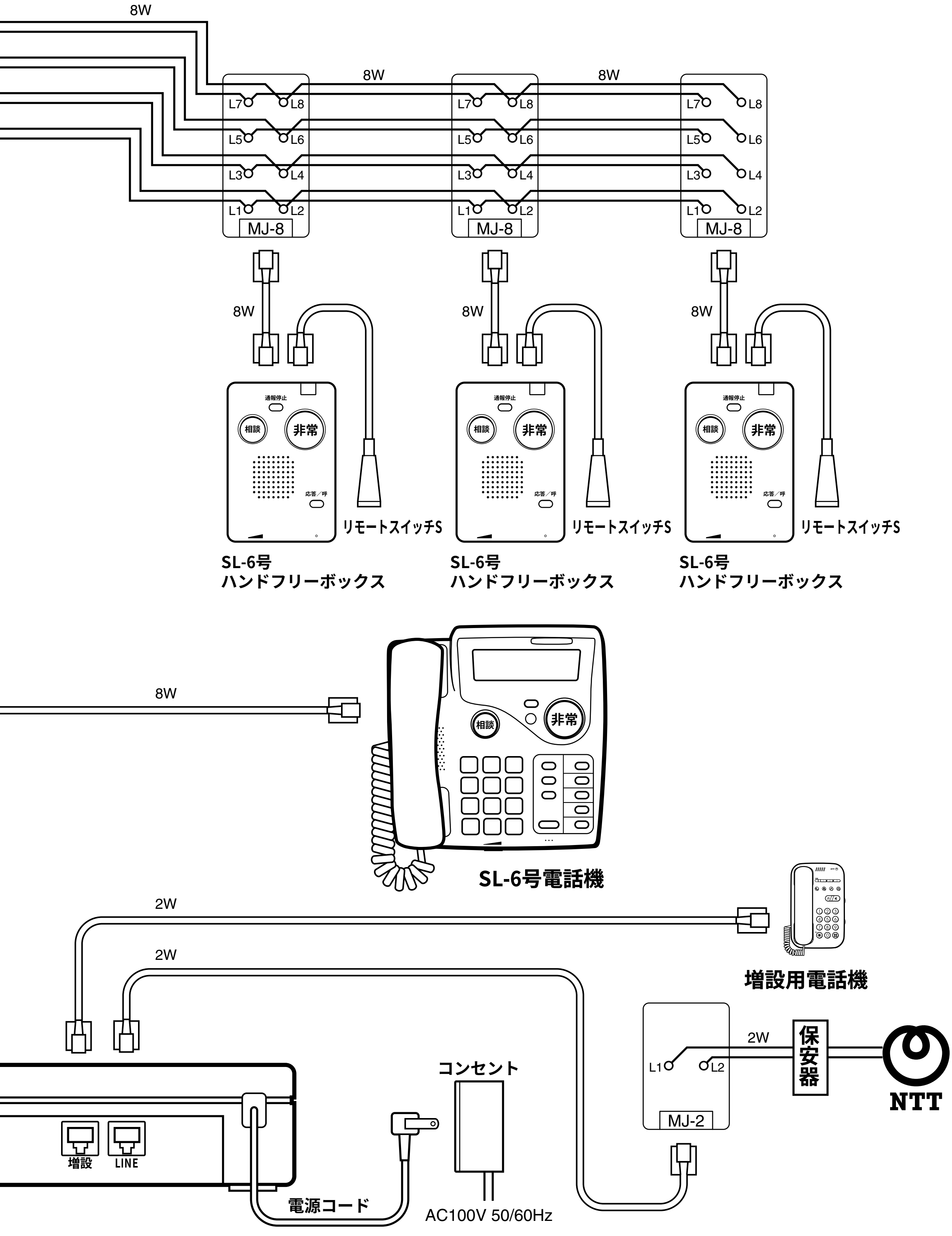
●接点出力の有無（登録番号：99）
（初期値=1111 1110）

項目	機能内容	設定	初期値	ユーザ設定値
非常、リモートスイッチ	非常、リモートスイッチの接点出力の有無を設定します。	0:なし 1:あり	1	
送信機	送信機の接点出力の有無を設定します。	0:なし 1:あり	1	
センサ1	センサ1の接点出力の有無を設定します。	0:なし 1:あり	1	
センサ2	センサ2の接点出力の有無を設定します。	0:なし 1:あり	1	
センサ3	センサ3の接点出力の有無を設定します。	0:なし 1:あり	1	
センサ4	センサ4の接点出力の有無を設定します。	0:なし 1:あり	1	
電池切れ	電池切れの接点出力の有無を設定します。	0:なし 1:あり	1	
相談	相談の接点出力の有無を設定します。	0:なし 1:あり	0	

付録 配線のしかた

下の図を参照して、SL-6号電話機と別売品などを接続（配線）してください。





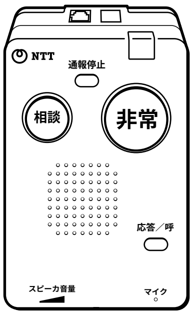
⚠注意	本商品は一般電話回線または構内交換機の内線用です。ディジタル回線に接続することはできません。また、ターミナルアダプタ等を介してディジタル回線に接続した場合は、緊急通報が正常に行われない場合があります。

付録　オプションをご利用のとき

より便利にお使いになるためのオプションが用意されています。オプションをご利用になるときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

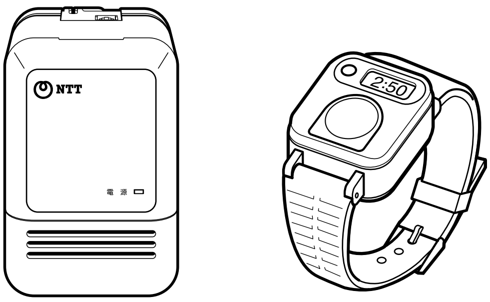
●SL-6号ハンドフリーボックス
（SL6-ハンドフリーボックス）

電話機と接続して、内線通話ができます。緊急通報、および相談電話をかけることもできます。



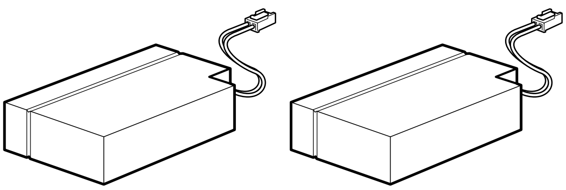
●小電力型ワイヤレスリモートスイッチ（セット）
（LP-ワイヤレスリモートスイッチ〈セット〉）

電話機から離れていても、緊急通報できます。



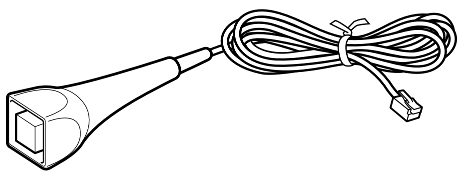
●12V-0.7AH-M-T-蓄電池
（12V-0.7AH-M-Tデンチ）

主装置に取り付けておくと、停電のときでも、一定時間、通報を行うことができます。



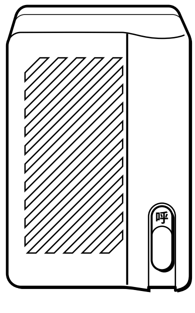
●リモートスイッチS完備
（リモートスイッチ-Sカンビ）

ハンドフリーボックスに接続しておくと、ボタン1つで緊急通報できます。



●SL-5号サブコールドアホン
（SL5-サブコールドアホン）

電話機をインターホン替わりに利用できます。



付録 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったときは、修理に出す前に次の点をご確認ください。

●基本的な使い方

こんなとき	原　因	確認してください	参照ページ
動作しない	主装置の電源コードが外れている	正しく接続してください	☛P74
	停電中のため	故障ではありません	☛P56
相手の方の声が聞き取りにくい	受話音量が小さく設定されている	受話音量を大きくしてください	☛P33
相手の方の高音部分が聞き取りにくい	高音域がオフに設定されている	高音域をオンにしてください	☛P33
スピーカの音が聞こえにくい	スピーカ音量が小さく設定されている	スピーカ音量を大きくしてください	☛P33
着信音が聞こえにくい	着信音量が小さく設定されている	着信音量を大きくしてください	☛P33
時刻が合っていない	時刻の設定をまちがえている	時刻の設定をやり直してください	☛P18
	停電があった（ブレーカが落ちた）	時刻の設定をやり直してください	☛P18
	電源コードがコンセントから抜けた	時刻の設定をやり直してください	☛P18
主装置があたたかい	内部には発熱するところがあり、多少温度が上がる	故障ではありません	–

●電話をかける/受ける

こんなとき	原　因	確認してください	参照ページ
「ツー」という発信音が聞こえない	電話機コードが正しく接続されていない	電話機コードを正しく接続してください	☛P74
スピーカから「ツー」という発信音が聞こえない	スピーカ音量が小さく設定されている	スピーカ音量を大きくしてください	☛P33
ワンタッチボタン、短縮番号ができない	ワンタッチボタン、または短縮番号が登録されていない	ワンタッチボタン、または短縮番号を正しく登録してください	☛P25, 29
ワンタッチボタン、再ダイヤルができない	ワンタッチボタン、または再ダイヤル中に、他のボタンを押した	電話がかかるまで、他のボタンは押さないでください	☛P26, 38

付録 索引

●ワンポイント索引

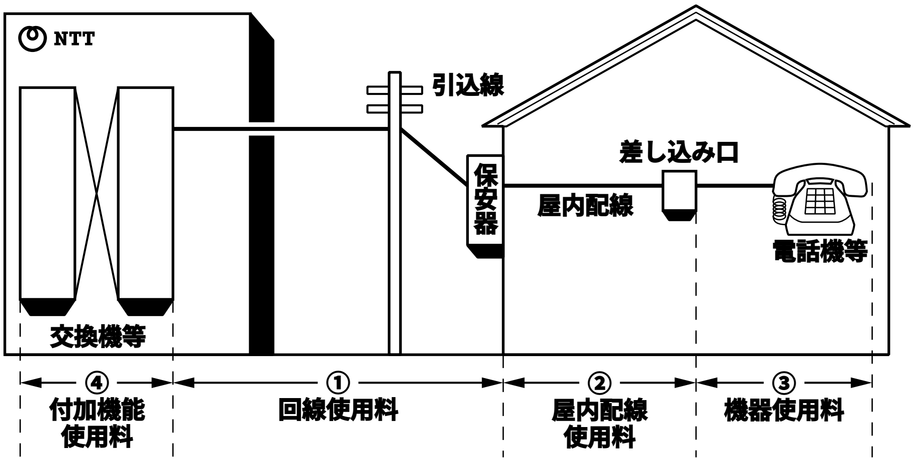
数字、アルファベット

五十音

付録 ご使用にあたってのお願い

本商品をご使用にあたって、当社のレンタル電話機がご不要となった場合は、局番なしの116番または当社の営業所等にご連絡をいただければ、「機器使用料」は不要となります。

● 当社の基本料金などの仕組み



● 電話料金の内訳

①回線使用料	**ご契約者名簿等により住宅用と事務用に区別され、回線使用料が異なります。**
②屋内配線使用料	**保安器から屋内の電話機の差し込み口までの屋内配線を当社からレンタルでご利用いただいている場合の料金です。**
③機器使用料	当社の電話機などをレンタルでご利用いただいている場合の料金です。
④付加機能使用料	**プッシュ回線、キャッチホン、クレジット通話などをご利用いただいている場合の付加機能の使用料金です。**

付録 仕様／保守サービスのご案内

●仕様

使用回線	一般電話回線または構内交換機の内線
ダイヤル方式	DP（10PPS/20PPS）、またはPB
異常入力	(非常)（1入力）、センサ類4入力、ワイヤレス受信器入力（別売）、リモートスイッチ入力（別売）
通報宛先	13グループ、14宛先
通報方式	音声合成方式、PB信号方式、PB信号＋音声合成方式
電源	AC100V±10V　50/60Hz DC24V（SL-6号主装置用蓄電池、別売）
消費電力	最大約12W
寸法・質量	電話機：幅約230mm×奥行き約216mm×高さ約86mm・約1.0kg 主装置：幅約270mm×奥行き約240mm×高さ約45mm・約1.5kg（蓄電池別）

●保守サービスのご案内

● 保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

● 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	・毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	・修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ・当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要となります。

●故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

●お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービス料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ：0120－109217（トークニイーナ）

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

● 補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

この取扱説明書は、エコマーク認定の再生紙を使用しています。

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ：0120－109217（トークニイーナ）

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©1999 NTTEAST・NTTWEST

NTT

本1544-5(99.12)
SL-6　デンワキ　トリセツ